

メルセデス・ベンツ車をお買い上げいただきありがとうございます。

運転される前に、この取扱説明書をお読みいただき、特に安全面と警告事項についてのご理解を深めてください。

お客様自身と周りの人々を危険から守り、お車を最大限に楽しんでいただくことができます。

お客様の車両の装備や名称は、オプションにより異なる場合があります。

メルセデス・ベンツは車両を最先端にする改良を絶えず行なっています。

そのため、デザイン、装備などが予告なく変更されることがあり、この取扱説明書に含まれる記述やイラストと異なる場合があります。

以下のものは、車両の一部ですので、常に車両に搭載してください。

- 取扱説明書
- 整備手帳
- 補足版

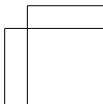
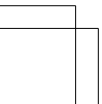
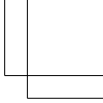
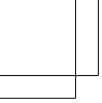
また次のオーナーに車両をお譲りになる場合は、必ずすべてをお渡しください。

Daimler AG の技術文献チームはお客様が安全で快適な運転をされることを望んでいます。

メルセデス・ベンツ日本株式会社



2075847381



さくいん	4	各部の名称	9
概要	7	コントロール	13
		音声コマンドリスト	31
		実用的なアドバイス	39
		個人の設定	43

あ

アドレス帳	
音声コマンドリスト.....	34
操作.....	24
アドレス帳の音声コマンド	
アドレス帳の説明.....	24
アドレス帳を読み上げる.....	24
電話帳読み上げ.....	24
登録先に電話する.....	24
登録先を検索.....	24
アプリケーション	10
音声コマンドの種類	10
音声コマンドリスト	
アドレス帳の音声コマンド.....	34
オーディオ/ビデオの音声コマンド.....	35
一般的な音声コマンド.....	32
電話の音声コマンド.....	33
ナビの音声コマンド.....	33
音声認識	
開始.....	11
中止.....	11
音声認識学習	44
音量	
調整.....	11

か

外部機器	29
確認	
電話の音声コマンド.....	15
言語設定	46
コマンドリスト	
電話.....	14

さ

施設	21
住所の入力	19
消去	
電話の音声コマンド.....	15
数字を入力する	40
一般的な音声コマンド	
音声コマンドリスト.....	32
専用	
音声コマンド.....	10
操作	
アドレス帳.....	24

電話.....	14
ナビ.....	17
ラジオ.....	25
CD.....	27
DVD.....	27
TV.....	28

た

着信履歴	17
ディスプレイ	12
テレビ	
音声コマンドリスト.....	36
テレビの音声コマンド	
オートプリセット.....	29
シークアップ/シークダウン.....	28
説明.....	28
チャンネルを選択する.....	28
放送局リスト読み上げ.....	29
電話	
音声コマンドリスト.....	33
操作.....	14
電話帳	
読み上げ.....	16
電話の音声コマンド	
確認.....	15
着信履歴.....	17
電話帳読み上げ.....	16
電話の説明.....	14
電話をかける.....	14
トーン信号の送信.....	17
登録先に電話する.....	16
発信履歴.....	16
メモリー番号.....	16
戻る.....	15
やり直す.....	15
リダイヤル.....	16
電話をかける	14
トーン信号の送信	17
登録先に電話する	
アドレス帳.....	16

な

ナビ	
音声コマンドリスト.....	33
住所の入力.....	19
操作.....	17

ナビの音声コマンド

案内開始.....	23
案内再開.....	23
位置データがあるアドレス帳 の読み上げ.....	22
現在地.....	18
施設.....	21
自宅.....	22
住所の入力.....	19
前回の目的地.....	21
地図向き.....	18
通過点.....	20
電話番号検索.....	20
到着予想時刻.....	18
登録地.....	22
道路の種類.....	18
ナビの説明.....	18
メモリー地点.....	22
目的地を検索する.....	22
目的地を設定する.....	19
目的地をメモリする.....	22
戻る.....	21
郵便番号検索.....	20
ルート案内を中止する.....	23
ルートを変更する.....	23
ETC カード.....	19
VICS.....	19

は

はじめに.....	10
発信履歴.....	16
汎用 音声コマンド.....	10
ヘルプ ディスプレイ情報.....	12
ヘルプ機能.....	40
ヘルプの音声コマンド アドレス帳の説明.....	24
説明.....	40
テレビの説明.....	28
ナビゲーションの説明.....	18
ラジオの説明.....	25
CD の説明.....	27
DVD の説明.....	27, 28
ヘルプ表示.....	44

ま

マルチファンクションステアリン グホイール.....	10
メディアインターフェース.....	30
戻る 電話の音声コマンド.....	15
ナビの音声コマンド.....	21

ら

ラジオ 音声コマンドリスト.....	35
操作.....	25
ラジオの音声コマンド オートプリセット.....	26
交通情報.....	26
シークアップ/シークダウン.....	25
周波数バンドの選択.....	25
選局.....	25
放送局読み上げ.....	26
放送局選択.....	26
ラジオの説明.....	25
リダイヤル.....	16

英字

Bluetooth® オーディオ.....	30
CD 音声コマンドリスト.....	36
操作.....	27
DVD 音声コマンドリスト (オーディ オ).....	36
音声コマンドリスト (ビデオ).....	36
操作.....	27
DVD の音声コマンド グループ 1 ~ 9.....	27
チャプター.....	29
次のトラック.....	27
トラック.....	27
ハードディスク.....	28
ヘルプ DVD.....	27, 28
前の曲.....	27
メモリーカード.....	28
DVD オーディオ.....	27
ETC カード.....	19
iPod®.....	30

TV	
操作.....	28
USB の音声コマンド	
USB.....	28
VICS.....	19

使用に関する安全

⚠ 警告

走行中に車両のマルチファンクションディスプレイや COMAND システムの操作を行なうと、交通状況に対する注意が払われなくなります。また車のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

交通状況が安全な時にのみ、操作するようにしてください。安全が確保されない場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。

⚠ 警告

走行中に携帯情報機器を操作すると、交通状況から注意がそれるおそれがあります。車のコントロールを失うおそれもあります。事故の危険性があります。

車両が停止しているときにのみ、この機能を使用してください。

走行を開始する前に、音声認識システムの機能に慣れ親しんでください。交通状況が許すときにのみ、音声認識システムを操作してください。

概要 10



概要

役に立つ情報

❶ この取扱説明書では、取扱説明書発行時点でお客様の車両に装着可能な、すべての標準およびオプション装備について記載しています。国により、仕様が異なる場合があります。本書に記載されているすべての機能が、お客様の車両に当てはまらない場合があることにご留意ください。このことは、安全に関する装備や機能にも当てはまります。

❶ 車両の取扱説明書にあるメルセデス・ベンツ指定サービス工場についての情報をお読みください。

概要

音声認識機能は車両の装備によって以下のシステムを操作することができます。

- 電話
- ナビ
- アドレス帳
- オーディオ (ラジオ、CD/DVD プレーヤー、メモリーカード、ハードディスク、メディアインターフェース、USB、Bluetooth® オーディオ)
- テレビとビデオ

個々の単語のあいだで区切らずに音声コマンドを発声してください。存在しない、または適切でない音声コマンドを入力した場合は、音声認識機能は"Excuse me?" または"もう一度繰り返してください" と答え、新しい音声コマンドを要求します。

音声認識機能は、重要な音声コマンドを入力したときは確認を行ない、適切でない入力を行なったときは知らせます。

音声コマンドの種類

音声認識機能の音声コマンドの種類は以下のように区別されます。

- 汎用音声コマンド
これらはいつでも呼び出すことができる音声コマンドです (ヘルプや電話の音声コマンドなど)。
- 専用音声コマンド
これらは作動しているアプリケーションでのみ利用できる音声コマンドです (例: ナビの "到着予想時間" など)。

アプリケーションの作動

特定の音声コマンドは、現在ディスプレイに表示されているアプリケーションや、そのとき聴いているオーディオソースを参照します。

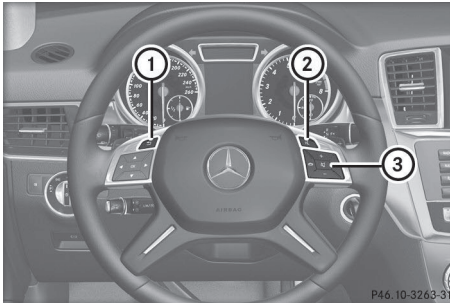
例えば、ナビのアプリケーションがディスプレイで作動しているときにラジオを聴いている場合は、音声認識を使用して両方のアプリケーションを操作できません。

音声認識を使用して他の機能を実行したい場合は、最初に適切な音声コマンドで該当するアプリケーションに切り替えます。

マルチファンクションステアリングを使用しての操作

音声認識機能はオンにしてから約 30 秒後に操作可能になります。

❶ 音声認識機能はいつでも中止できません。



例：M クラス、ステアリング

①		音声認識機能を中止する
②		音声認識機能を開始する
③		通話を受ける
		通話を終える
		音量を下げる
		音量を上げる
		ミュート

音声認識の開始

- ▶ イグニッションをオンにします (取扱説明書を参照してください)。
- ▶ マルチファンクションステアリングの スイッチを押します。
信号音が聞こえます。音声認識が開始されます。
- ▶ 音声コマンドを発声します。

音声認識の中断/継続

音声認識を中断する

リストがディスプレイに表示される場合は、音声コマンド"一時停止"を使用して音声認識を中断できます。

- ▶ 音声コマンド"一時停止"を発声します。その後 COMAND コントローラーを使用して、項目を選択できます。

音声認識を継続する

- ▶ マルチファンクションステアリングの スイッチを押します。
音声認識機能が再開されます。

音声認識の中止

- ▶ マルチファンクションステアリングの スイッチを押します。

または

- ▶ 音声コマンド"中止"を発声します (ナビの項目を録音しているとき、または音声認識学習しているとき以外)。

または

- ▶ COMAND システムのいずれかのスイッチを押します。

音量の調整

- ▶ 音声認識を開始します。
- ▶ "説明"のような音声コマンドを発声します。

- ▶ または スイッチを押します。
音声が出力されている間に、音量が上がるか、または下がります。

または

- ▶ COMAND システムの音量コントロールで音声出力の音量を調整します (車両の取扱説明書を参照してください)。

ヘルプ機能

音声認識機能には、音声による多くのヘルプ機能があります。音声コマンド"電話の説明"を発声すると、音声認識機能は電話の主要な音声コマンドをすべて読み上げます。

特定のアプリケーションのヘルプコマンドは関連するセクションにあります。さ

らなるヘルプコマンドはこちらをご覧ください(▷ 32 ページ)。

ヘルプ機能のさらなる情報はこちらをご覧ください(▷ 40 ページ)。


ディスプレイ情報


音声のヘルプ機能は、ディスプレイのヘルプ表示によって補うことができます。(▷ 44 ページ) ヘルプ機能がオンのときは、音声認識を開始するときに、そのときに可能な最も重要な音声コマンドがディスプレイに表示されます。

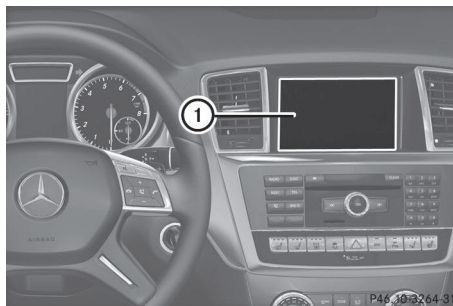
音声認識機能がさらなる選択を要求する場合は、結果のリストがディスプレイに表示されます。

該当する場合は、行番号または内容を発声することにより、リストの項目を選択できます。音声コマンド"次のページ"または"前のページ"を使用して、リストをスクロールできます。

音声コマンド"一時停止"で音声認識を中断します。COMAND コントローラーを使用して、リストで希望する項目を見つけることができます。音声コマンド"修正"で情報を再び入力するように促されます。

選択リストが表示されているときに  スイッチを押すと、1 行目にある項目が選択されます。

リストが読み上げられている間に  スイッチを押すと、現在の項目が選択されます。



図は COMAND オンライン (例 : M クラス)

① COMAND ディスプレイ

電話	14
ナビゲーション	17
アドレス帳	23
ラジオ	25
CD/DVD オーディオモード	26
テレビ/DVD ビデオモード	28
外部機器	29



電話

留意点

⚠ 警告

走行中に携帯情報機器を操作すると、交通状況から注意がそれるおそれがあります。車のコントロールを失うおそれもあります。事故の危険性があります。車両が停止しているときのみ、この機能を使用してください。

緊張した状況では声の音が変わることがあるので、緊急時には音声認識システムを使用しないでください。むだに電話の発信が遅れることがあります。

操作

音声認識機能を使用して以下のことができます。



- 電話番号を発声して電話接続をする
- アドレス帳から番号をダイヤルする
- 電話帳を読み上げさせる
- トーン信号を送信する
- 番号をリダイヤルする

音声認識機能は以下のことを検知します。

- 電話がオンになっていること
- 電話が Bluetooth®により接続されていること
- 電話が適切な携帯のネットワークにロケインしていること
- ダイヤルが可能なこと

ダイヤルが不可能なときは、音声認識機能がこの旨のメッセージを出します。

i 走行中は電話のキーは使用できません。

- ▶ **電話のアプリケーションを選択する：**
マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。
- ▶ 音声コマンド"電話"を発声します。
- ▶ マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。
- ▶ 以下に説明する電話の音声コマンドの一つを発声します。

音声コマンド

"電話の説明"

音声コマンド"電話の説明"を使用して、電話の主要な音声コマンドを読み上げさせることができます。(▷ 40 ページ)

"電話をかける"

音声コマンド"電話をかける"を使用して、電話番号をダイヤルできます。







0 から 9 の数字と "+" の文字が使用できます。



"+" は "00" のような国際電話コードの代わりになります。


連続した一連の数字の形式、または 3 ~ 5 桁のような数字のブロックとして電話番号を発声してください。

音声認識機能は数字の各ブロックの後に (数字の各ブロックの間に約 2 分の 1 秒のポーズを入れて)、認識した数字を繰り返します。その後、お客様が続いて発声するまで待ちます。

音声認識の例

-  電話をかける
-  電話番号をお話してください。
-  0 1 3 0
-  0 1 3 0
-  5 0 0 5
-  0 1 3 0 5 0 0 5











-  発信
-  電話します

i 終了の音声コマンド"はい"の代わりに、マルチファンクションステアリングの スイッチを押すと、特定の番号をダイヤルすることもできます。

"確認"

番号を入力しているとき、音声コマンド"確認"を使用して、発声したすべての数字を音声認識に繰り返させることができます。そして音声認識機能は、入力を続けるように促します。




音声認識の例










-  電話をかける
-  電話番号をお話してください。
-  0 1 3 0
-  0 1 3 0
-  確認
-  0 1 3 0 電話番号をもう一度お話しください。
-  5 0 0 5
-  0 1 3 0 5 0 0 5
-  発信
-  電話します

"戻る"

番号を入力しているとき、音声コマンド"修正"を使用して、最後に発声した数字のブロックを訂正できます。この音声コマンドを発声すると、音声認識機能は数字の最後のブロックを消去して、ここまでに入力された数字を繰り返します。そして音声認識機能は、入力を続けるように促します。

音声認識の例















-  電話をかける
-  電話番号をお話してください。
-  0 1 3 0

-  0 1 3 0
-  5 0 0 5
-  0 1 3 0 5 0 9 5
-  戻る
-  0 1 3 0 電話番号をもう一度お話しください。
-  5 0 0 5
-  0 1 3 0 5 0 0 5
-  発信
-  電話します

"やり直す"

番号を入力しているとき、音声コマンド"やり直す"を使用して、入力されたすべての数字を消去できます。この音声コマンドを発声した後で、音声認識機能は追加する数字または音声コマンドを入力するように促します。

音声認識の例

-  電話をかける
-  電話番号をお話してください。
-  0 1 3 0
-  0 1 3 0
-  5 0 0 5
-  0 1 3 0 5 0 0 5
-  やり直す
-  入力された電話番号を削除します。電話番号をもう一度お話しください。
-  0 3 7 3
-  0 3 7 3
-  3 9 1
-  0 3 7 3 3 9 1
-  発信
-  電話します

"登録先に電話する"(アドレス帳)







音声コマンド"登録先に電話する"を使用して、アドレス帳から名前を選んで電話できます。

氏名項目を発声できます。

名前の項目では、以下の方法で名前の項目を発声できます。

- 名のみ
- 姓のみ
- 名および姓
- 姓および名





音声認識の例

-  登録先に電話する
-  電話をかける相手のお名前をお話してください
-  鈴木太郎
項目に1つ以上の電話番号があるときは、音声認識機能がこのことをたずねてきます。
-  プライベートですか？ 仕事関連ですか？
-  仕事関連
-  鈴木太郎 仕事関連 電話します

"メモリー番号"

この音声コマンドを使用して、携帯電話に登録した電話番号を呼び出すことができます。携帯電話メモリの電話番号は99まで使用できます。

音声認識の例

-  メモリー番号
-  メモリー番号をお話してください。
-  5
-  5

電話番号が選択されます。

"登録先を検索"

(▷ 24 ページ)



"電話番号検索"



(▷ 20 ページ)

"電話帳読み上げ"および電話番号のダイヤル

音声コマンド"電話帳読み上げ"を使用して、電話番号が登録されているアドレス帳の項目すべてを読み上げさせることができます。必要に応じて項目を選択できます。

音声認識の例

-  電話帳読み上げ
システムは電話番号があるすべてのアドレス帳の項目を読み上げます。
- ▶ **名前および番号を選択する**：希望の項目でマルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。
項目に1つ以上の電話番号があるときは、音声認識機能がこのことをたずねてきます。

-  プライベートですか？ 仕事関連ですか？
-  プライベート

"リダイヤル"

音声コマンド"リダイヤル"を使用して、もっとも最近発信した番号をリダイヤルできます。

"発信履歴"


音声コマンド"発信履歴"により、最近ダイヤルした電話番号のリストを呼び出すことができます。これらの番号の中から電話をかけることができます。

"着信履歴"

音声コマンド"着信履歴"により、最近着信した電話番号のリストを呼び出すことができます。これらの番号の中から電話をかけることができます。

トーン信号の送信

通話中に音声認識機能をして、トーン信号を送信することができます。

- ▶ 通話中に、マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。
 - ▶ 必要な数字 ("0"から"9") を発声します。
- または
- ▶ 必要な単語"アスタリスク"または"シャープ"を発声します。
 - ▶ 終了させる音声コマンド"はい"を発声します。
- システムは入力した番号に発信します。

ナビゲーション

留意点

警告

走行中に車両のマルチファンクションディスプレイやCOMANDシステムの操作を行なうと、交通状況に対する注意が払われなくなります。また車のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

交通状況が安全な時にのみ、操作するようにしてください。安全が確保されない場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。



ナビゲーションシステムは一般の交通状況を考慮したり、危険や障害物を認識することはできません。そのため、どのような危険をも認識しそれらに反応できるように常に一般の道路や交通状況に気を付けてください。

ナビゲーションメッセージは、走行中に交通状況または運転から注意をそらすことなく、案内を行ないます。地図表示に代わる案内として、常にこの機能を使用してください。マークまたは地図表示は、交通状況および運転から注意をそらすおそれがあります。

ルート案内は推奨を提供するだけです。常に道路交通法に従い、一般の状況に運転スタイルを合わせてください。

操作

音声認識機能を使用して以下のことができます。

- 目的地の入力
 - 郵便番号で検索する
 - 電話番号で検索する
 - 通過点を入力する
 - 施設を検索する
 - 地図に施設を表示する
 - 以前の目的地を選択する
 - 地図を表示する
 - 地図を拡大 / 縮小する
 - 地図の向きを設定する
 - 地図のモードを切り替える
 - 目的地メモリーを読み上げる
 - ルート案内を開始 / 中断する
 - VICS 情報を表示させる
 - ルートを再検索する
- ▶ **ナビのアプリケーションを選択する：** マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。
 - ▶ 音声コマンド"ナビ"を発声します。
 - ▶ マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。
 - ▶ 以下に説明するナビの音声コマンドのいずれかを発声します。

音声コマンド

必要な住所データがすべて入力されるまでルート案内を開始することはできません。住所を入力する音声コマンドは (▷ 19 ページ) をご覧ください。



"ナビの説明"

音声コマンド"ナビの説明"を使用して、ナビゲーションシステムの主要なコマンドを読み上げさせます。

最初に主要なカテゴリーが読み上げられます。主要なカテゴリーを選択すると、利用可能な音声コマンドが読み上げられます。

"現在地"

この音声コマンドを使用して、地図上の現在の車両位置を表示できます。

"到着予想時間"

音声コマンド"到着予想時間"を使用して、現在計画されているルートに基づいて到着予想時間を読み上げさせることができます。

"現在の道路"

音声コマンド"現在の道路"を使用して、道路の種類と、可能であれば道路の番号を読み上げさせることができます。

"音声案内オフ"または"音声案内オン"

この音声コマンドを使用して、ルート案内の音声出力のオン/オフを切り替えることができます。

音声コマンド"音声案内オン"を使用すると、音声認識機能は最後の音声案内も繰り返します。

"詳細"または"広域"

これらの音声コマンドを使用して、ディスプレイの地図の縮尺を大きくしたり小さくしたりできます。

"最小スケール"または"最大スケール"

これらの音声コマンドを使用して、地図の表示を最小または最大の縮尺に直接設定できます。

地図の縮尺の直接入力

"100メートルスケール"のような以下の音声コマンドを使用して、地図表示の縮尺を直接入力できます。

以下の設定が可能です。

- 50 m、100 m、200 m、500 m
- 1 km、2 km、5 km
- 10 km、20 km、50 km
- 100 km、200 km

"コンパス"

この音声コマンドを使用して、ディスプレイにコンパスを表示できます。

"地図向き"

i この機能は 2D 表示のときのみ有効です。

この音声コマンドを使用して、地図の向きをノースアップあるいはヘディングアップに切り替えることができます。

"ノースアップ"

i この機能は 2D 表示のときのみ有効です。

この音声コマンドを使用して、地図の向きをノースアップに設定できます。

"ヘディングアップ"

i この機能は 2D 表示のときのみ有効です。

この音声コマンドを使用して、地図の向きをヘディングアップに設定できます。

"2D 表示"

この音声コマンドを使用して地図を 2D で表示できます。

"3D 表示"

この音声コマンドを使用して地図を 3D で表示できます。

ルート案内中に表示を切り替える

ルート案内が作動しているとき、異なる表示に切り替えることができます。

以下の表示が可能です。

- ルート全体の表示
- 分岐点案内図の表示
- 分岐点案内図の非表示
- 高速案内図の表示
- 高速案内図の非表示
- 都市高 3D 図の表示
- 都市高 3D 図の非表示

VICS 音声コマンド

VICS(道路交通情報通信システム)は車両に交通渋滞の即時情報を供給します。この情報は文字または図形でディスプレイに表示されます。

以下の音声コマンドが可能です。

- "VICS 高速表示"
- "VICS 高道表示オフ"
- "VICS 一般道表示"
- "VICS 一般道表示オフ"
- "VICS すべての道路表示"
- "VICS すべての道路表示解除"

- "VICS 渋滞情報表示"
- "VICS 渋滞表示オフ"
- "VICS 順調線表示"
- "VICS 順調線表示オフ"
- "VICS 規制情報表示"
- "VICS 規制情報表示オフ"
- "渋滞情報"

音声認識機能は、交通渋滞付近の地図エリアを表示したいかをたずねます。

"ETC カード"

この音声コマンドを使用して、ETC カードの状態を照会できます。

住所の入力


システムは音声認識により、ルート案内へ導きます。有効な住所を入力するとすぐに、音声認識機能はルート案内を開始したいかをたずねてきます。

"目的地設定"


i この機能は日本語でのみ使用できません。

音声認識の例

 目的地入力

 検索方法を選択してください。施設で検索しますか？住所で検索しますか？

 住所

 都道府県名から住所をお話してください

"住所の入力"









i この機能は日本語でのみ使用できません。

音声コマンド"住所の入力"を使用して、県や市、通りを発声して住所を入力できます。

もし、そのときお客様のいる県に市がある場合は、県を発声する必要はありません。

音声認識の例







-  住所
-  都道府県名から住所をお話してください
-  東京都港区六本木
-  よろしければ検索 続ける場合は続きの住所をお話してください 修正する場合は修正と 最初からやり直す場合はやり直すとお話してください
-  検索
-  ルート案内を開始してよろしいですか？
-  はい
-  システムはルート案内を開始します。

"通過点 1 設定"

i この音声コマンドは目的地点が設定されていて、ルート案内が作動しているときにのみ使用できます。

この音声コマンドを使用して、4 つまでの通過点を現在のルート案内に選択できます。これをするために、目的位置の地図が表示されていなければなりません。



音声認識の例

-  通過点 1 設定
-  通過点を高速道路上に設定しますか？
-  はい
-  ここを通過点 1 に設定します

"通過点 1 削除"

この音声コマンドを使用して既に設定した通過点を削除できます。通過点を設定していない、または選択した通過点を既に通過した場合は、システムはそのように知らせます。

音声認識の例










-  通過点 1 削除
-  通過点 1 を削除します

郵便番号検索

音声コマンド"郵便番号検索"を使用して、郵便番号を入力してルート案内を開始できます。

i 郵便番号を一桁ずつ発声してください。10、100、1000 などのグループで数字を発声しないでください。

音声認識の例



-  郵便番号検索
-  郵便番号を教えてください。
-  1 0 6 8 5 0 6
-  1 0 6 8 5 0 6 よろしければ検索 修正する場合は修正 最初からやり直す場合はやり直すとお話してください
-  検索
-  1 0 6 8 5 0 6 の 地図を表示します
-  ルート案内を開始してよろしいですか？
-  はい
-  システムはルート案内を開始します。








電話番号検索

音声コマンド"電話番号検索"を使用して、電話番号を入力してルート案内を開始できます。

i 電話番号を一桁ずつ発声してください。10、100、1000 などのグループで数字を発声しないでください。

音声認識の例


-  電話番号検索
-  電話番号をお話してください。

-  0 3 1 2 3 4 5 6 7 8
-  0 3 1 2 3 4 5 6 7 8 よろしければ検索 修正する場合は修正 最初からやり直す場合はやり直すとお話してください
-  検索
-  0 3 1 2 3 4 5 6 7 8 を 地図を表示します
-  ルート案内を開始してよろしいですか？
-  はい
-  システムはルート案内を開始します。

"戻る"







住所の一部を入力した場合は、音声コマンド"戻る"を使用して最後の入力を繰り返すことができます。





"施設"

 この機能は日本語でのみ使用できません。


音声コマンド"施設"を使用して、特別な目的地（ガソリンスタンド、空港、駅など）を選択できます。すべてのまたは一部の施設を入力できます。

音声認識の例

-  施設
-  施設または県の名前を教えてください。
-  東京タワー
-  東京タワーで検索します
-  システムはディスプレイに、番号付きの東京タワーを含む施設のリストを表示します。
-  該当する施設が 10 件見つかりました 検索方法の行を指定してください 更に絞り込む場合は、詳しい施設名か場所もしくはジャンルをお話してください

-  3 行目
-  3 行目を選択します。東京タワーを表示します。ルート案内を開始してよろしいですか？
-  はい
-  システムはルート案内を開始します。



施設のアイコンを表示する / 非表示にする

 地図の縮尺が 500 メートル またはそれ以下に設定されているときにのみ施設のマークが表示されます。

以下の音声コマンドを使用して、地図上のマークを表示したり非表示にすることができます。

- "***表示"
 - "地図アイコンオフ"
- *** には以下のものを入れることができます。
- レストラン
 - コンビニエンスストア
 - ガソリンスタンド
 - 駐車
 - 銀行
 - メルセデスベンツサービス
 - 個人設定

音声認識の例

-  レストラン表示
-  レストランアイコンを表示します。

"目的地の履歴"


音声コマンド"目的地の履歴"を使用して、以前選択した目的地のリストから目的地を再び選択することができます。

"位置データ"

音声コマンド"位置データ"を使用して、現在表示されている地図データをアドレス帳に保存することができます。




 位置データ

 電話をかける相手のお名前をお話してください

 鈴木太郎¹

"メモリー地点"

音声コマンド"メモリー地点"を使用して、現在の車両位置を保存できます。

 メモリー地点


 メモリー地点に登録しました

"登録地 1"

この音声コマンドを使用して、事前に登録した目的地を呼び出し、この目的地までのルート案内を開始できます。3つまでの目的地を事前に設定できます。

音声認識の例

 登録地 1

 登録地 1 を目的地に設定しますか？

 はい

 登録地 1 を目的地に設定しました

"自宅"


この音声コマンドを使用して、自宅住所までのルート案内を開始できます。このためには、事前に COMAND システムに自宅住所を登録しなければなりません。

音声認識の例

 自宅

 自宅を目的地に設定しますか？

 はい


 自宅を目的地に設定します

"登録先に案内する"

音声コマンド"登録先に案内する"を使用して、事前に登録した住所を選択して、ルート案内を開始できます。


音声認識の例

 登録先に案内する


 電話をかける相手のお名前をお話してください

 鈴木太郎

 鈴木太郎 確認しました

 ルート案内を開始してよろしいですか？


 はい

 システムはルート案内を開始します。


"位置データがあるアドレス帳の読み上げ"


音声コマンド"位置データがあるアドレス帳の読み上げ"を使用して、目的地住所が登録されているアドレス帳の項目すべてを読み上げさせることができます。希望であれば、ルート案内の目的地として項目を設定できます。

音声認識の例

 位置データがあるアドレス帳の読み上げ

システムがアドレス帳の目的地メモリーから項目を読み上げます。

▶ 希望する名前が読み上げられたときに、マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。

 多くの利用可能な住所があるときは、システムは、"鈴木太郎への案

¹ 入力の場合

内を開始しますか?" とたずねてきます。

- はい
- システムはルート案内を開始します。

"案内開始"

音声コマンド"案内開始"を使用して、目的地が表示されているときに、ルート案内を開始できます。

- 案内開始
- ルート案内が開始されます。

"案内中止"

この音声コマンドを使用してルート案内を中止できます。

音声認識の例

- 案内中止
- ルート案内を中止します

"案内再開"

この音声コマンドを使用して、ルート案内が中断された後に再開できます。

音声認識の例

- 案内再開
- ルート案内を再開します

ルートを変更する

以下の音声コマンドを使用して、すでに検索されたルートを変更できます。特定のカテゴリーを選択できます。

- 有料道路優先
- 一般道優先
- 推奨ルート
- 距離優先
- 別ルート
- 再探索
- 迂回ルート

音声認識の例

- 距離優先
- 距離優先で再探索します

アドレス帳

留意点

▲ 警告

走行中に車両のマルチファンクションディスプレイや COMAND システムの操作を行なうと、交通状況に対する注意が払われなくなります。また車のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

交通状況が安全な時にのみ、操作するようにしてください。安全が確保されない場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。

概要

アドレス帳を使用して、個人情報項目の形式に登録できます。

音声認識機能を使用して、アドレス帳に登録されている電話番号をダイヤルしたり、登録されている住所にルート案内を開始できます。

アドレス帳のよみがな欄の項目は、音声認識機能により認識されます。アドレス帳項目の認識は入力された氏名によります。

選択している間は、以下の方法でタグを発声できます。



- 名のみ
- 姓のみ
- 名と姓
- 姓と名

アドレス帳項目の以下のことを確認します。

- 姓と名などの氏名項目が正しい欄にある
- 略語や頭文字が使われていない
- 氏名に不必要なスペースがない
- 特別な文字が使用されていない
- よみがな欄でカタカナを使用している

操作

音声認識機能を使用して以下のことができます。

- 氏名に電話する
 - アドレス帳を読み上げる
 - 目的地メモリーをリストアップする (▷ 22 ページ)
 - アドレス帳を開く
 - アドレス帳から項目を開く
 - 電話帳を聞く (▷ 16 ページ)
- ▶ **アドレス帳のアプリケーションを選択する**：マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。
- ▶ 音声コマンド"アドレス帳"を発声します。
- ▶ マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。
- ▶ 以下に説明するアドレス帳音声コマンドの一つを発声します。

音声コマンド

"アドレス帳の説明"

音声コマンド"アドレス帳の説明"を使用して、アドレス帳の主要な音声コマンドを読み上げさせることができます。

"登録先に電話する"

(▷ 16 ページ)

"登録先を検索"

音声コマンド"登録先を検索"を使用して、アドレス帳で氏名を探します。

例えば以下のように、音声認識機能はどのような動作を実行したいのかをたずねます。

- 対応する電話番号に電話する
- 登録した住所にルート案内を開始する
- 項目を開く

"アドレス帳読み上げ"


音声コマンド"アドレス帳読み上げ"を使用して、アドレス帳のすべての氏名項目を聞くことができます。そうしている間に項目を選択することができます。

音声認識の例

 アドレス帳を読み上げる

システムはアドレス帳のすべての項目を読み上げます。多くの項目があるときは、システムはどの項目から読み上げ始めるかをたずねます。

① 氏名を言わないときは、音声認識機能はアドレス帳の全ての項目を読み上げます。

▶ **アドレス帳の項目を選択する**：選択する項目で  スイッチを押します。項目が選択されます。

その後、音声認識機能は選択した項目でどのような動作を実行したいのかをたずねます。

"電話帳読み上げ"と電話番号のダイアル

(▷ 16 ページ)

"位置データがあるアドレス帳の読み上げ"と目的地へのナビ

(▷ 22 ページ)

ラジオ

留意点

⚠ 警告

走行中に車両のマルチファンクションディスプレイや COMAND システムの操作を行なうと、交通状況に対する注意が払われなくなります。また車のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。



交通状況が安全な時にのみ、操作するようにしてください。安全が確保されない場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。

操作

音声認識機能を使用して以下のことができます。

- 放送局を探す
- 周波数を選択する
- 交通情報に切り替える
- 放送局のリストを聞く
- 周波数バンド(FM または AM)を選択する

受信して登録したすべての放送局の名前は音声認識で利用できます。

- ▶ **ラジオのアプリケーションを選択する**：マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。
- ▶ 音声コマンド"ラジオ"を発声します。
- ▶ マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。
- ▶ 以下に説明するラジオの音声コマンドの一つを発声します。

音声コマンド

"ラジオの説明"

音声コマンド"ラジオの説明"を使用して、ラジオのすべての音声コマンドを読み上げさせることができます。

最初に主要なカテゴリーが読み上げられます。主要なカテゴリーを選択すると、利用可能な音声コマンドが読み上げられます。

周波数バンドを選択する

以下の音声コマンドを使用して、周波数バンドを設定できます。

- "FM1"
- "FM2"
- "AM1"
- "AM2"

"シークアップ"または"シークダウン"

以下の音声コマンドを使用して、放送局サーチを開始して、次の放送局を設定できます。

- "シークアップ"
- "シークダウン"

周波数を選択する

ラジオの周波数を FM 帯 (76.0 ~ 90.0 MHz) および AM 帯 (531 ~ 1602 kHz) で直接選択できます。音声認識機能は"周波数"や"てん"、"メガヘルツ"、"キロヘルツ"の単語も認識できます。

音声認識の例

 81.3MHz

音声認識機能は周波数を設定します。

"オートプリセット"

音声コマンド"オートプリセット"を使用して、現在設定されている周波数バンドをスキャンして、受信できる放送局を登録できます。

音声認識の例

- オートプリセット
- FM 1 でオートプリセットを開始しますか？
- はい
- オートプリセットを開始します

"プリセット 0"から"プリセット 9"

音声コマンド"プリセット 0"から"プリセット 9"を使用して、事前登録した放送局をプリセット番号で呼び出すことができます。

音声認識の例

- プリセット 1
- 音声認識機能はそのプリセットと関連のある周波数を設定します。

"放送局選択"

i この機能は日本語でのみ使用できません。

音声コマンド"放送局選択"を使用して、放送局を選択します。

音声認識の例

- 放送局選択
- プリセットリストに登録されている放送局名をお話してください
- FM 横浜
- 音声認識機能は放送局を設定します。

"放送局名例えば FM 横浜"

i この機能は日本語でのみ使用できません。

この音声コマンドを使用して、プリセットリストから放送局を直接選択できます。放送局の名前が変わってしまった場合は、使用できません。

音声認識の例

- 例) 放送局 FM 横浜
- 音声認識機能は放送局を設定しません。

"放送局リスト読み上げ"および"放送局の選択"

音声コマンド"放送局リスト読み上げ"を使用して、プリセットリストに登録されたすべての放送局のリストを読み上げさせることができます。希望であれば、放送局も選択できます。

音声認識の例

- 放送局読み上げ
- システムは放送局リストを読み上げます。
- 希望する放送局が読み上げられたとき
- ▶ スイッチを押す。
- システムは対応する周波数を設定します。

"交通情報"

音声コマンド"交通情報"は音声認識機能を交通情報に切り替えます。

CD/DVD オーディオモード

留意点



警告

走行中に車両のマルチファンクションディスプレイや COMAND システムの操作を行なうと、交通状況に対する注意が払われなくなります。また車のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

交通状況が安全な時にのみ、操作するようにしてください。安全が確保されない場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。

操作

音声認識機能を使用して以下のことができます。

- CD/DVD を選択する
- トラックを選択する
- DVD オーディオモードでグループを選択する
- ミュージックレジスターにアクセスする
- ▶ **CD/DVD のアプリケーションを選択する**：マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。
- ▶ 以下の音声コマンドの一つを発声します。
 - "CD"/"BGM CD"
 - "DVD オーディオ"/"BGM DVD オーディオ"
- ▶ マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。
- ▶ 以下に説明する CD/DVD の音声コマンドの一つを発声します。

音声コマンド

"CD の説明"または"DVD の説明"

以下の音声コマンドを使用して、CD または DVD プレーヤーのすべての音声コマンドを読み上げさせることができます。

- "CD の説明"
- "DVD オーディオの説明"

"CD"、"BGM CD"、"DVD オーディオ"または"BGM DVD オーディオ"

音声コマンド"CD"または"DVD オーディオ"を使用して、挿入された CD または DVD に切り替えることができます。

音声コマンド"BGM CD"または"BGM DVD オーディオ"を使用して、挿入された CD または DVD に切り替えることもできます。現在表示されている画面(例：ナビ)を維持することができます。

"1 曲目"から"99 曲目"

① "ミュージックレジスター"、"メディアインターフェース"、"USB"や"メモリーカード"のメディアには最大で 999 トラックを選択できます。

音声コマンド"トラック 1" から"トラック 99"で、挿入した CD/DVD からトラックの番号を選択できます。

"次の曲"

音声コマンド"次の曲"を使用して次のトラックを選択できます。

"前の曲"

音声コマンド"前の曲"を使用して、前のトラックを選択できます。

"グループ 1"から"グループ 9"

音声コマンド"グループ 1" から"グループ 9"で、挿入された DVD オーディオのグループを選択できます。

"次のグループ"または"前のグループ"

以下のコマンドを使用すると、DVD オーディオの次または前のグループを選択できます。

- "次のグループ"
- "前のグループ"

i ミュージックレジスターおよび MP3 では、これらの音声コマンドは以下の形式で使用されます。"次のアルバム"、"前のアルバム"または"次のフォルダー"、"前のフォルダー"。

"メモリーカード"または"BGM メモリーカード"

音声コマンド"メモリーカード"または"BGM メモリーカード"を使用して、COMAND システムの SD メモリーカードに切り替えることができます。

"ミュージックレジスター"または"BGM ミュージックレジスター"

音声コマンド"ミュージックレジスター"または"BGM ミュージックレジスター"を使用すると、COMAND システムの内部ハードドライブ(ミュージックレジスター)に切り替えることができます。

"USB"または"BGM USB"

音声コマンド"USB"または"BGM USB"を使用して、COMAND システムの USB 機器に切り替えることができます。

テレビ/DVD ビデオモード

留意点



警告

常に交通状況に注意を集中してください。運転を開始する前にテレビ機能に慣れ親しんでください。

交通状況が許すときのみ、音声認識機能进行操作してください。お客様や他の方がけがをするような事故に巻き込まれることがあります。

操作

音声認識機能を使用して以下のことができます。

- テレビをオンにする
- チャンネルを変更する
- DVD ビデオモードでタイトルを選択する
- ▶ **テレビのアプリケーションを選択する**： マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。
- ▶ 以下の音声コマンドの一つを発声します。
 - "テレビ"
 - "ティーブイ"
 - "DVD"/"BGM DVD"
- ▶ **マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。**
- ▶ 以下に説明するテレビの音声コマンドの一つを発声します。

音声コマンド

"テレビの説明"または"DVD の説明"

音声コマンド"テレビの説明"または"DVD の説明"を使用して、テレビと DVD のすべての音声コマンドを読上げさせることができます。

"シークアップ"または"シークダウン"

以下の音声コマンドを使用して、放送局サーチを開始して、次の放送局を設定できます。

- "シークアップ"
- "シークダウン"

"放送局選択"

i この機能は日本語でのみ使用できません。

音声コマンド"放送局選択"を使用して、放送局を選択します。

音声認識の例

- 放送局選択
- プリセットリストに登録されている放送局名をお話してください
- NHK 総合
- 音声認識機能は放送局を設定します。

"放送局 <放送局名>"

i この機能は日本語でのみ使用できません。

この音声コマンドを使用して、プリセットリストから放送局を直接選択できます。放送局の名前が変わってしまった場合は、使用できません。

音声認識の例

- 放送局 NHK 総合
- 音声認識機能は放送局を設定します。

"放送局リスト読み上げ"および放送局の選択

i この機能は日本語でのみ使用できません。

音声コマンド"放送局リスト読み上げ"を使用して、プリセットリストに登録されたすべての放送局のリストを読み上げさせることができます。希望であれば、放送局も選択できます。

"オートプリセット"

音声コマンド"オートプリセット"を使用して、放送局サーチを実行して、現在十分受信可能な放送局を登録できます。

音声認識の例

- オートプリセット
- テレビ 1 でオートプリセットを開始しますか？
- はい
- オートプリセットを開始します。

"DVD"または"BGM DVD"

音声コマンド"DVD"を使用して、挿入された DVD に切り替えることができます。現在表示されている画面(例:ナビ)を保持したい場合は、音声コマンド"BGM DVD"を使用することができます。

"CHAPTER 1"から"CHAPTER 999"

DVD ビデオを見ているとき、音声コマンド"CHAPTER 1"から"CHAPTER 999"を使用して、挿入された DVD で CHAPTER を選択できます。

"次のCHAPTER"または"前のCHAPTER"

DVD ビデオで、以下の音声コマンドを使用して、挿入された DVD で次のまたは前のシーンを選択することができます。

- "次のCHAPTER"
- "前のCHAPTER"

外部機器

i 現在表示されている画面(例:ナビ)を維持したい場合は、"BGM メディアインターフェース"のような音声コマンドを使用することができます。

"メディアインターフェース"または"BGM メディアインターフェース"

音声コマンド"メディアインターフェース"または"BGM メディアインターフェース"を使用して、メディアインターフェースに接続している外部機器に切り替えることができます。

**"Bluetooth オーディオ"または"BGM Bluetooth オーディオ"**

音声コマンド"Bluetooth オーディオ"または"BGM Bluetooth オーディオ"を使用して、外部の Bluetooth®オーディオ機器に切り替えることができます。

"iPod"または"BGM iPod"

音声コマンド "iPod" または "BGM iPod" を使用して、メディアインターフェースに iPod が接続されている場合は、iPod®に切り替えることができます。

概要	32
全般的な音声コマンド	32
電話の音声コマンド	33
ナビの音声コマンド	33
アドレス帳の音声コマンド	34
オーディオおよびビデオの音声コマンド	35

概要

このセクションには、音声認識機能の操作についての主要な音声コマンドがあります。使用可能な音声コマンドは車両の装備によります。

i 操作を容易にするため、複数の音声コマンドを持っている機能があります。これらは、リストでは区切り線でグループ化され、相互に使用できます。

全般的な音声コマンド

- アドレス帳
- オーディオ
- CD
- ナビゲーション
- ナビ
- DVD
- DVD オーディオ
- ラジオ
- 電話
- TV/映像
- 説明
- 使用可能な音声コマンド
- すべての音声認識機能
- 音声認識の説明
- ラジオの説明
- ラジオで使用可能な音声コマンド
- 電話の説明
- 電話で使用可能な音声コマンド
- アドレス帳の説明
- アドレス帳で使用可能な音声コマンド

- CD の説明
- CD で使用可能な音声コマンド
- DVD の説明
- DVD ビデオで使用可能な音声コマンド
- DVD オーディオの説明
- DVD オーディオで使用可能な音声コマンド
- ナビの説明
- ナビで使用可能な音声コマンド
- ルート案内の説明
- ルート案内で使用可能な音声コマンド
- メディアインターフェースの説明
- メディアインターフェースで使用可能な音声コマンド

音声認識で以下の音声コマンドを使用できます。

- はい
- 中止
- キャンセル
- いいえ
- 一時停止
- ポーズ
- 戻る
- 修正
- 訂正
- プリセット 0 - 9
- 次
- 次のページ
- 次のページ

- 前
- 前のページ
- 前のページ
- <1> - <7>
- 1 行目 - 7 行目

電話の音声コマンド

- 電話
- 電話をかける
- 電話発信
- 発信
- 電話帳読み上げ
- 電話帳を読み上げる
- リダイヤル
- 発信履歴
- 着信履歴

電話の音声認識で以下の音声コマンドを使用できます。

- 発信
- 確認
- 戻る
- 訂正
- 修正

ナビの音声コマンド

- ナビゲーション
- ナビ
- 音声案内
- 音声案内オン
- 音声案内オフ
- 詳細
- 広域
- 25 メートルスケール
- 50 メートルスケール
- 100 メートルスケール
- 200 メートルスケール
- 500 メートルスケール
- 1 キロスケール
- 2 キロスケール
- 5 キロスケール
- 10 キロスケール
- 20 キロスケール
- 50 キロスケール
- 100 キロスケール
- 200 キロスケール
- 最小スケール
- 最大スケール
- ノースアップ
- ヘディングアップ
- 地図向き
- 2D 表示
- 3D 表示

- コンパス
- VICS 高速表示 / VICS 高速道表示オフ
- VICS 一般道表示 / VICS 一般道表示オフ
- VICS 道路情報表示 / VICS 道路情報オフ
- VICS 渋滞情報表示 / VICS 渋滞表示オフ
- VICS 順調線表示 / VICS 順調線表示オフ
- VICS 規制情報表示 / VICS 規制情報表示オフ
- 渋滞情報
- 現在地
- 現在の道路
- 目的地設定
- 目的地設定
- 案内開始
- ここに行く
- ルート案内中止
- 案内中止
- 目的地の履歴
- 郵便番号
- 郵便番号検索
- 施設
- 施設を探す
- レストラン表示
- コンビニ表示
- ガソリンスタンド表示
- 駐車場表示
- 銀行表示
- メルセデスベンツサービス表示

- 個人設定表示
- 地図アイコンオフ
- 通過点 1 - 4 設定
- 通過点 1 - 4 削除
- 登録地 1 - 3
- 自宅
- 登録先に案内する
- 有料道路優先
- 一般道優先
- 推奨ルート
- 距離優先
- 別ルート
- 最探索
- 迂回ルート
- 位置データ
- メモリー地点

アドレス帳の音声コマンド

- アドレス帳
- アドレス帳を読み上げる
- アドレス帳読み上げ
- 登録先を探す
- 登録先を検索
- 位置データがあるアドレス帳の読み上げ
- 位置データがあるアドレス帳の読み上げ

アドレス帳の音声認識では以下の音声コマンドを使用できます。

- 確定
- 決定
- 検索
- <1> - <7>
- 1 行目 - 7 行目
- <アドレス帳項目>の自動車
- <アドレス帳項目>の一般電話
- <アドレス帳項目>の一般電話
- <アドレス帳項目>の携帯
- <アドレス帳項目>の携帯
- <アドレス帳項目>のプライベートの携帯
- <アドレス帳項目>の仕事関連の一般電話
- <アドレス帳項目>の仕事関連
- <アドレス帳項目>のプライベート
- 仕事関連
- 会社関連
- 仕事関係
- 自動車
- 自動車電話
- 一般電話
- 一般電話
- 一般電話
- 携帯
- 携帯電話
- 携帯電話
- 仕事関連の自動車
- 仕事関連の自動車電話
- 自動車電話 仕事関連

- 仕事関連の一般電話
- 仕事関連の一般電話)
- 一般電話 仕事関連)

- 仕事関連の携帯
- 仕事関連の携帯電話
- 携帯電話 仕事関連

- 自宅

- プライベートの自動車
- プライベートの自動車電話
- 自動車電話プライベート

- プライベートの一般電話
- プライベートの一般電話
- 一般電話 プライベート

- プライベートの携帯
- プライベートの携帯電話
- 携帯電話プライベート

オーディオおよびビデオの音声コマンド

ラジオ

- ラジオ

ラジオがオンのとき、以下の音声コマンドを使用できます。

- 76.0 ~ 90.0
- 76.0 メガヘルツ ~ 90.0 メガヘルツ
- 周波数 76.0 ~ 周波数 90.0
- 周波数 76.0 メガヘルツ - 周波数 90.0 メガヘルツ
- FM1
- FM2
- AM1
- AM2

- シークアップ
- 次の放送局

- シークダウン
- 前の放送局

- 放送局<放送局名>

- 放送局選択

- 放送局リスト読み上げ
- 放送局読み上げ

- プリセット 1

- オートプリセット

CD プレーヤー

- CD
- BGM CD
- オーディオ CD

CD プレーヤーがオンのとき、以下の音声コマンドを使用できます。

- トラックアップ
- 次の曲

- 前の曲
- トラックダウン

- トラック 1 ～トラック 99
- 1 曲目～ 99 曲目

ハードディスク

- ハードディスク
- ミュージックレジスター
- BGM ミュージックレジスター

DVD オーディオ

- DVD オーディオ
- BGM DVD オーディオ

DVD オーディオモードがオンのとき、以下の音声コマンドを使用できます。

- 次のグループ

- 前のグループ

- グループ 1 ～ 9

- 次の曲
- トラックアップ

- 次の曲
- トラックダウン

- トラック 1 ～トラック 99
- 1 曲目～ 99 曲目

メディアインターフェース

- メディアインターフェース
- BGM メディアインターフェース

テレビおよびビデオ

- ビデオ
- DVD
- BGM DVD

- テレビ
- TV

- シークアップ
- 次の放送局

- シークダウン
- 前の放送局

- 放送局<放送局名>

- 放送局選択
- 放送局リスト読み上げ
- 放送局読み上げ
- プリセット 1 ～プリセット 12
- オートプリセット
- チャプター 1 ～チャプター 999
- 次のチャプター
- 前のチャプター

メモリーカード

- メモリーカード
- SD カード
- BGM メモリーカード

USB

- USB
- BGM USB
- USB メモリー

Bluetooth®オーディオ

- Bluetooth オーディオ
- BGM Bluetooth オーディオ

iPod®

- iPod
- BGM iPod

トラブルの解決方法 40

トラブルの解決方法

ヘルプ機能

音声認識機能は、利用者を支援する広範囲のヘルプ機能を持っています。

音声認識機能のヘルプ機能には以下のものがあります。


- 音声認識機能の最適な操作における注意事項
- 可能な音声コマンドのリスト

ヘルプの音声コマンド

"音声認識の説明"

音声コマンド"音声認識の説明"を使用して、音声認識機能の最適な操作方法についての情報を得ることができます。

"説明"

- ▶ マルチファンクションステアリングの  スイッチを押して、音声コマンド"説明"を発声します。現在選択されているアプリケーションの説明を受け取ります。

例えば"電話をかける"と発声した後、音声返答中に音声コマンド"説明"を発声すると、音声認識の続け方についての説明を聞くことができます。

音声コマンド"電話の説明"を使用するなどして、特定のシステムのヘルプ機能を要求することもできます。



ヘルプ表示を作動させると、可能な音声コマンドの候補をディスプレイで確認できます (▶ 44 ページ)。

数字を入力する

数字を入力する

- "0"から"9"の数字を使用できます。
- 電話番号を 2 から 5 桁のブロックで発声します。

音声認識を改善するために

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
音声認識機能がお客 様を理解しない。	<p>運転席から音声認識機能进行操作していない</p> <p>▶ 運転席からのみ音声認識機能进行操作します。</p> <p>強調しすぎたり、とても大きく、またはとても小さく話している。</p> <p>▶ 強調しないで、わかりやすくはっきりと音声コマンドを話します。</p> <p>風量が最も高い設定になっている、または開いている窓からの風の音がする。</p> <p>▶ 大きな音の干渉を防ぎます。</p>
アドレス帳の項目が 認識されない。	<p>アドレス帳に入力された名前に十分な違いがあるように聞こえない、または書かれているように発音されていない。</p> <p>▶ アドレス帳の項目が適切であることを確認します。</p> <p>アドレス帳項目の以下のことを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 姓と名などの氏名項目が正しい欄にある • 略語や頭文字が使われていない • 氏名に不必要なスペースがない • 特別な文字が使用されていない • よみがな欄でカタカナを使用している <p>▶ 音声コマンド"アドレス帳読み上げ" を発声します。</p> <p>音声認識機能がアドレス帳を読み上げます。</p> <p>▶ 希望する名前が読み上げられたときに、マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。</p>
放送局リストの項目 が認識されない	<p>▶ 音声コマンド"放送局読み上げ" を発声します。</p> <p>音声認識機能が放送局リストを読み上げます。</p> <p>▶ 希望する放送局が読み上げられたときに、マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。</p> <p>放送局が選択されます (▶ 26 ページ)。</p>

ヘルプ表示	44
音声認識学習	44
言語設定の変更	46


ヘルプ表示

ヘルプ表示を使用して、有効な音声コマンドの候補をディスプレイに表示できます。

COMAND システムの設定メニューでヘルプ機能のオン/オフを切り替えることができます。

COMAND システムの構成や動作原理については対応する取扱説明書にあります。

ヘルプ表示のオン/オフを切り替える

▶ **sys**  スイッチを押す。

または

▶ 基本機能メニューバーの設定を選択します。

システムメニューが表示されます。

▶ システム → 音声認識設定を選択します。

▶ ヘルプ表示 を選択します。

ヘルプ表示をオン またはオフ に切り替えます。

音声認識学習

音声認識学習を使用して、音声認識機能をお客様自身の声に細かく合わせ、音声認識を向上させることができます。

音声認識学習は、車両が停車しているときのみ開始できます。セッションが開始すると、音声指示でシステムがトレーニングの説明をします。

① 音声認識学習が作動している場合、他の利用者の音声認識の質に影響を与えることがあります。他の利用者の音声認識の質を損ねる場合には、音声認識学習をオフにします。

英語の音声認識学習は 2 部で構成されています。1 部目では数字、2 部目では特定の音声コマンドのシステムの音声認識学習を行います。


日本語の音声認識学習は、システムを数字および特定の音声コマンドで音声認識学習する 1 部で構成されています。

システムはいつでも出荷時の設定にリセットできます。

① 英語の音声認識学習は完全に行なう必要はありません。数字の学習をすることでも、認識率は大きく改善されます。1 部目の後に学習を中止することができます。

COMAND システムの構成や動作原理については対応する取扱説明書にあります。

新しい音声認識学習を開始する

▶ **sys**  スイッチを押す。

または

▶ 基本機能メニューバーの設定を選択します。

システムメニューが表示されます。

▶ システム → 音声認識設定 → 音声認識学習を開始するを選択します。

さらに情報が必要かどうかをたずねるメッセージが表示され、聞こえます。

▶ はいまたはいいえを選択します。

英語の音声認識学習


- いいえを選択すると、音声認識学習の 1 部目が開始します。

- はいを選択すると、さらに情報が表示され、聞こえます。

日本語の音声認識学習

- いいえを選択すると、音声認識学習が開始されます。
- はいを選択すると、さらに情報が表示され、聞こえます。

または

- ▶ **ディスプレイを閉じる:**  COMAND コントローラーを押します。
数字または音声コマンド²音声認識学習したいかをたずねるメッセージが聞こえます。

英語の音声認識学習：1部の終わりに、2部目を開始したいかどうかをたずねるメッセージが表示されます。

英語の音声認識学習

- ▶ はいまたはいいえを選択します。
 - いいえを選択すると、音声認識学習が中止されます。1部目のデータは自動的に登録されます。
 - はいを選択すると、2部目が開始します。
2部目が終了すると音声認識学習は完了します。この結果に対するメッセージが表示されます。2部目のデータは自動的に保存されます。


英語の音声認識学習：音声認識学習の1部目または2部目の中止

- ▶ 中止を選択します。
本当に中止したいかどうかを問う確認が表示されます。
- ▶ はいまたはいいえを選択します。
 - はいを選択すると、音声認識学習が中止されます。終了した部分からのデータは保存されません。
 - いいえを選択すると、進行中の部分が再び開始されます。


日本語の音声認識学習：音声認識学習の中止

- ▶ 中止を選択します。
本当に中止したいかどうかを問う確認が表示されます。
- ▶ はいまたはいいえを選択します。
 - はいを選択すると、音声認識学習が中止されます。データは保存されません。
 - いいえを選択すると、音声認識学習が再開されます。

既存の音声認識学習結果を削除する

- ▶  スイッチを押す。
- または
- ▶ 基本機能メニューバーの設定を選択します。
システムメニューが表示されます。
 - ▶ システム → 音声認識設定 → 音声認識学習結果を削除するを選択します。
本当に削除したいかどうかを問う確認が表示されます。
 - ▶ はいまたはいいえを選択します。

音声認識学習の作動/停止

- ▶  スイッチを押す。
- または
- ▶ 基本機能メニューバーの設定を選択します。
システムメニューが表示されます。
 - ▶ システム → 音声認識設定 → 音声認識学習結果を利用するを選択します。
音声認識学習のオン またはオフ を切り替えます。

² 英語の音声認識学習の場合のみ

言語設定の変更

システム言語を変更して音声認識機能の言語を変更することができます。

音声認識機能は英語および日本語を認識します。

▶ **sys** 機能スイッチを押します。

または

▶ 基本機能メニューバーのシステムを選択します。

システムメニューが表示されます。

▶ 設定 → 言語 / Language を選択します。

▶ 希望の言語を選択します。

発行物の詳細

インターネット

メルセデス・ベンツ車や Daimler AG についての詳細情報については、以下のウェブサイトに記載されています。

<http://www.mercedes-benz.co.jp>

<http://www.daimler.com>

編集オフィス


Daimler AG の書面による許可なく、本書のすべてまたは一部を複写、翻訳または複製することはできません。


Symbols

You will find the following symbols in this manual:

WARNING

Warning notices draw your attention to hazards that may endanger your health or life, or the health or life of others.

 Safety notes draw your attention to dangers that could lead to damage to your vehicle.

 Useful tips or other information that may be helpful to you.

▶ This symbol indicates an instruction that you must follow.

▶ Several such symbols in succession indicate an instruction with several steps to be followed.

▷ Page This symbol tells you where you can find more information about a particular topic.

▷▷ This symbol indicates a warning or an instruction that is continued on the next page.

Display This font indicates a display message in the multifunction display/COMAND display.



This symbol indicates that you should speak.



This symbol indicates that there is a voice output from LINGUA-TRONIC.



This symbol indicates that the system is showing a message on the display.

Welcome to the world of Mercedes-Benz

Before you first drive off, read this manual carefully and familiarise yourself with your vehicle, particularly with the safety and warning notices.

You will derive much enjoyment from the vehicle and can contribute to your own safety and that of others.

The vehicle's equipment or its model designation may vary according to its optional extras.

Mercedes-Benz is constantly updating its vehicles to the state of the art.

Mercedes-Benz therefore reserves the right to introduce changes in the following areas, amongst others: design, equipment. Therefore, the illustrations or text content of this Owner's Manual could vary.

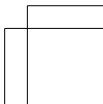
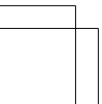
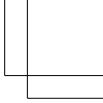
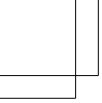
The following documents are integral parts of the vehicle. They should therefore be kept in the vehicle at all times.

- Owner's Manual
- Service Booklet
- Equipment-dependent supplements

In addition, if you sell the vehicle, always pass all documents on to the new owner.

The technical documentation team at Daimler AG wishes you safe and pleasant motoring.

Mercedes-Benz Japan Co., Ltd.



Index	4	At a glance	9
Introduction	7	Controls	13
		Command list	29
		Practical advice	37
		Personal settings	41

A**Address book**

Command list	32
Operation	22

Address book commands

Call name	23
Find name	23
Help address book	23
Read out address book	23
Read out phone book	23

Application 10**B****Bluetooth® Audio** 28**C****Call name**

Address book	15
--------------------	----

CD

Command list	33
Operation	25

Command list 30

Address book commands	32
Audio/video commands	33
General commands	30
Navigation commands	31
Telephone	14
Telephone commands	31

Command types 10**Correction**

Navigation commands	20
Telephone commands	15

D**Dial number** 14**Dialogue**

Cancelling	11
Starting	11

Display 11**DVD**

Command list (audio)	34
Command list (video)	34
Operation	25

DVD commands

DVD audio	25
Group	26
Hard drive	26
Help DVD	25, 27
Memory card	26
Next track	26
Previous track	26
Scene	27
Track	25

E**Entering an address** 19**Entering digits** 38**ETC card** 19**External devices** 27**G****General commands**

Command list	30
--------------------	----

Global

Commands	10
----------------	----

H**Help**

Display	11
---------------	----

Help commands

Help	38
Help address book	23
Help CD	25
Help DVD	25, 27
Help navigation	17
Help radio	24
Help TV	27

Help function 38**Help window** 42**I****Individualisation** 42**Introduction** 10**iPod®** 28**L****Language setting** 43**Latest calls** 16

Local			
Commands	10	Telephone	14
		TV	26
M		P	
Media Interface	27	Phone book	
Multifunction steering wheel	10	Read out	16
		Phone commands	
		Call with memory number	16
		Points of interest	20
N		R	
Navigation		Radio	
Command list	31	Command list	33
Enter address	19	Operation	23
Operation	17	Radio commands	
Navigation commands		Autostore	24
Cancel route guidance	22	Help radio	24
Correction	20	Next station/Previous station	24
Current position	17	Read out station list	25
Destination history	21	Selecting a frequency	24
Enter address	19	Selecting a waveband	24
Enter destination	19	Select station	24
Estimated arrival time	17	Traffic information	25
ETC card	19	Received calls	16
Find address	21	Redial	16
Help navigation	17	Repeat	
Home	21	Telephone commands	15
Making changes to the route	22		
Map direction	18	S	
Phone number	20	Sending DTMF tones	16
Points of interest	20	Start over	
Preset destination	21	Telephone commands	15
Read out destination memory	21		
Resume route guidance	22	T	
Road information	17	Telephone	
Save destination	21	Command list	31
Save location	21	Operation	14
Start route guidance	21	Telephone commands	14
VICS	18	Call name	15
Way point	19	Correction	15
ZIP code	19	Dial number	14
		Help telephone	14
		Last calls	16
		Read out phone book	16
		Received calls	16
O			
Operation			
Address book	22		
CD	25		
DVD	25		
Navigation	17		
Radio	23		

Redial	16
Repeat	15
Sending DTMF tones	16
Start over	15
TV	
Command list	34
Operation	26
TV commands	
"Read out station list"	27
Autostore	27
Help	27
Seek up/seek down	27
Selecting a channel	27
U	
USB commands	
USB	26
V	
VICS	18
Volume	
Adjusting	11

Operating safety

WARNING

Operating the integrated information systems and communications equipment in the vehicle while driving will distract you from traffic conditions. You could then lose control of the vehicle. There is a risk of an accident.

Only operate these devices if road traffic conditions permit. If you are unsure about the surrounding conditions, pull over to a safe location and make entries only while the vehicle is stationary.

WARNING

Operating mobile communications equipment while driving distracts you from paying attention to traffic conditions. This could also cause you to lose control of the vehicle. There is a risk of an accident.

Use this device only when the vehicle is stationary.

Familiarise yourself with the voice control system functions before beginning your journey. Only operate the voice control system when traffic conditions permit.

Introduction 10



Introduction

Useful information

- i** This manual describes all models and standard and optional equipment of your vehicle that were available when the manual went to press. Country-specific differences are possible. Note that your vehicle may not be equipped with all the functions described. This also applies to safety-relevant systems and functions.
- i** Read the information on qualified specialist workshops in the vehicle Owner's Manual.

Overview

The LINGUATRONIC voice-operated control system allows you to operate the following systems, depending on the equipment in your vehicle:

- Telephone
- Navigation
- Address book
- Audio (radio, CD/DVD player, memory card, hard disk, Media Interface, USB, Bluetooth® audio)
- TV and video

Say the commands without pausing between individual words. If you enter a non-existent or incorrect command, LINGUATRONIC responds with "Please repeat" or "Please repeat your entry" to request a new command.

LINGUATRONIC confirms when you enter important commands and informs you when you make an incorrect entry.

Command types

A distinction is drawn between the following types of command in LINGUATRONIC:

- Global commands:

These are commands that can be called up at any time (such as help or phone commands).

- Local commands:
These are commands that are only available for the active application (such as "Estimate arrival time" for navigation).

Active application

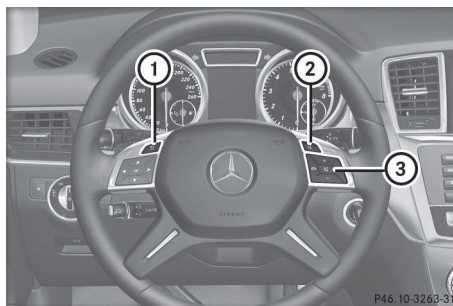
The local commands refer to the application currently shown on the display and to the audio source you are currently listening to. If, for example, you are listening to the radio while the navigation application is active on the display, you can operate both applications using voice control.

If you would like to operate another function using voice control, you must first switch to the application in question with the appropriate command.








Operation using the multifunction steering wheel

LINGUATRONIC is operational approximately thirty seconds after it is switched on.


- i** You can cancel the dialogue with LINGUATRONIC at any time.



Example: M-Class multifunction steering wheel

①		Cancels the dialogue with LINGUATRONIC
②		Starts a dialogue with LINGUATRONIC
③		Accepts a call
		Ends a call
		Reduces the volume
		Increases the volume
		Mute

Starting a dialogue

- ▶ Switch on the ignition (see the vehicle Owner's Manual).
- ▶ Press the  button on the multifunction steering wheel.
An acoustic signal sounds. The dialogue has been started.
- ▶ Say a command.


Interrupting/continuing a dialogue

Interrupting a dialogue


If a list appears on the display, you can use the command "Pause" to interrupt the dialogue.

- ▶ Say the command "Pause".
You can then select an entry using the COMAND controller.



Continuing a dialogue

- ▶ Press the  button on the multifunction steering wheel.
The dialogue with LINGUATRONIC is resumed.

Cancelling a dialogue

- ▶ Press the  button on the multifunction steering wheel.
- or
- ▶ Say the command "Cancel" (except for navigation entries or during individualisation).
- or
- ▶ Press any button on COMAND.

Adjusting the volume

- ▶ Start the dialogue.
- ▶ Say a command, such as "Help".
- ▶ Press the  or  button.
The volume increases or decreases during the voice output.
- or
- ▶ Adjust the volume for voice output on the volume control for COMAND (see the vehicle Owner's Manual).

Help function

LINGUATRONIC has an extensive acoustic help function. If you say the command "Help phone", LINGUATRONIC reads out all the major commands for the telephone.

The help commands for the particular application can be found in the relevant section. Further help commands can be found from (▷ page 30) onwards.

Further information on the help function can be found from (▷ page 38).

Messages in the display


The audible help function can be supplemented by visual help on the display (▷ page 42). If the help function is switched on, the most important commands that are currently possible appear on the display when you start the dialogue.


At a glance

Result lists are shown in various dialogues in the display if LINGUATRONIC requires you to make a further selection.

You can select a list entry by saying the line number or the content, if applicable. You can scroll through the list using the commands "Continue" or "Back".

The command "Pause" will pause the dialogue. This allows you to find the desired entry in the list using the COMAND controller. The "Correction" command results in you being prompted to re-enter the information.

If you press the  button while the selection list is displayed, the entry on line 1 is selected.

If you press the  button while a list is being read out, the current entry is selected.

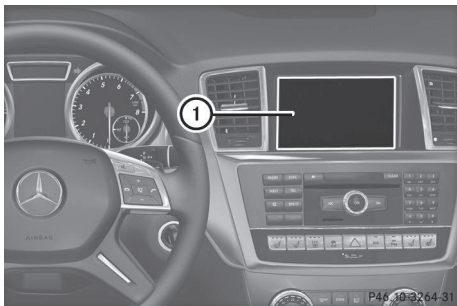


Illustration shows COMAND (example: M-Class)

① COMAND display

Telephone	14
Navigation	16
Address book	22
Radio	23
CD and audio DVD mode	25
TV and video DVD mode	26
External devices	27

Telephone

Points to remember

WARNING

Operating mobile communications equipment while driving distracts you from paying attention to traffic conditions. This could also cause you to lose control of the vehicle. There is a risk of an accident.

Use this device only when the vehicle is stationary.

Do not use the voice control system in an emergency as the sound of your voice can change in stressful situations. This could delay your telephone call unnecessarily.

Operation


You can use LINGUATRONIC to:


- establish a telephone connection by saying a telephone number
- dial a number from the address book
- have the phone book read out
- send DTMF tones
- redial a number


LINGUATRONIC detects whether:

- your phone is switched on
- your phone is connected via Bluetooth®
- your phone is logged into the correct mobile network
- dialling is possible

If dialling is not possible, LINGUATRONIC issues a message to this effect.

 The keys on the phone cannot be used while the vehicle is in motion.

- ▶ **To select the phone application:** press the  button on the multifunction steering wheel.
- ▶ Say the command "Telephone".

- ▶ Press the  button on the multifunction steering wheel.
- ▶ Say one of the telephone commands explained below.

Commands

"Help telephone"

Using the command "Help phone", you can have the main commands for the telephone read out (▷ page 38).

"Dial number"

You can use the command "Dial number" to dial a phone number.









The digits 0 – 9 and the word "Plus" are permissible.



"Plus" replaces the international dialling code, e.g. "00".

Say the telephone number in the form of a continuous string of digits or as blocks of digits, e.g. three to five digits.

LINGUATRONIC repeats the digits it recognises after each block of digits (with a pause of about half a second between each block of digits). It then waits for you to continue speaking.

Example of dialogue:











-  Dial number
-  Please say a phone number.
-  Zero one three zero
-  Zero one three zero
-  Five zero zero five
-  Zero one three zero five zero zero five
-  OK
-  Dialling number.

-  You can also dial the specified number if you press the  button on the multifunction steering wheel instead of the concluding command "Okay".

"Repeat"

While you are entering a number, you can use the command "Repeat" to have all the spoken digits repeated by LINGUATRonic. LINGUATRonic will then prompt you to continue with the entry.













Example of dialogue:

-  Dial number
-  Please say a phone number.
-  Zero one three zero
-  Zero one three zero
-  Repeat
-  Zero one three zero. Please continue.
-  Five zero zero five
-  Zero one three zero five zero zero five
-  OK
-  Dialling number.

"Correction"

While you are entering a number, you can use the command "Correction" to correct the block of digits last spoken. When you say this command, LINGUATRonic deletes the last block of digits and repeats the digits entered up to this point. LINGUATRonic will then prompt you to continue with the entry.















Example of dialogue:

-  Dial number
-  Please say a phone number.
-  Zero one three zero
-  Zero one three zero
-  Five zero zero five
-  Zero one three zero five zero nine five
-  Correction
-  Zero one three zero. Please continue.
-  Five zero zero five
-  Zero one three zero five zero zero five
-  OK
-  Dialling number.

"Start over"

While you are entering a number, you can use the command "Start over" to delete all the digits which have been entered. After you have said this command, LINGUATRonic prompts you to enter additional digits or commands.

Example of dialogue:

-  Dial number
-  Please say a phone number.
-  Zero one three zero
-  Zero one three zero
-  Five zero zero five
-  Zero one three zero five zero zero five
-  Start over
-  Number deleted, please continue.
-  Zero three seven three
-  Zero three seven three
-  Three nine one
-  Zero three seven three three nine one
-  OK
-  Dialling number.

"Call name" (address book)




You can use the command "Call name" to place a call by selecting a name from your address book.

You can say a name entry.




For a name entry, you can say a name entry in the following ways:

- first name only
- surname only
- first name and surname
- surname and first name

Example of dialogue:

-  Call name
-  Please say the name.
-  Smith





If there is more than one phone number for an entry, LINGUATRonic queries this.

-  Home or work?
-  Work
-  Smith work. Dialling number.

"Call with memory number"

You can use this command to call up a phone number that has been saved on your mobile phone. You can use your mobile phone memory number up to 99.

Example of dialogue:

-  Call with memory number
-  Please say the memory number.
-  Five
-  Five

The phone number is accepted.

"Find name"

(▷ page 23)





"Search by phone number"

(▷ page 20)

"Read out phone book" and dialling a number

You can use the command "Read out phone book" to have all entries read out in the address book for which a phone number is stored. You can select an entry if desired.

Example of dialogue:

-  Read out phone book
 - The system reads out all the address book entries with phone numbers.
- ▶ **To select a name and number:** press the  button on the multifunction steering wheel at the desired entry.
 - If there is more than one phone number for an entry, LINGUATRONIC queries this.
-  Home or work?
-  Home

"Redial"

You can use the command "Redial" to redial the number most recently called.

"Dialled numbers"


The "Dialled numbers" command allows you to call up a list of the last phone numbers dialled. You can then call one of these numbers.

"Incoming calls"

The "Incoming calls" command allows you to call up a list of the last incoming phone numbers. You can then call one of these numbers.

Sending DTMF tones

You can use LINGUATRONIC to send DTMF tones during a call.

- ▶ Press the  button on the multifunction steering wheel during a telephone call.
- ▶ Say the required digits ("zero" to "nine").
- or
- ▶ Say the required words "Star" or "Hash".
- ▶ Say the concluding command "Okay".
 - The system dials the number entered.

Navigation

Points to remember

WARNING

Operating the integrated information systems and communications equipment in the vehicle while driving will distract you from traffic conditions. You could then lose control of the vehicle. There is a risk of an accident.

Only operate these devices if road traffic conditions permit. If you are unsure about the surrounding conditions, pull over to a safe location and make entries only while the vehicle is stationary.

The navigation system cannot take the prevailing traffic situation into account or recog-

nise any dangers or obstacles. You must therefore be constantly aware of the prevailing road and traffic conditions so that you can recognise any dangers and react to them.



Navigation messages should guide you during the journey without distracting you from traffic conditions or driving. Always use this function as a guide instead of the map display. The symbols or the map display could distract you from traffic conditions and driving.

The route guidance only provides recommendations. You must always comply with the national road traffic regulations and adapt your driving style to the prevailing conditions.

Operation

You can use LINGUATRONIC to:

- enter a destination
- search by postal code
- search by phone number
- enter way points
- search for a POI
- display POIs on the map
- select a previous destination
- display the map
- zoom the map in/out
- set the map orientation
- switch between map modes
- read out destination memory
- start and stop route guidance
- have VICS info displayed
- recalculate the route

- ▶ **To select the navigation application:** press the  button on the multifunction steering wheel.
- ▶ Say the command "Navigation".
- ▶ Press the  button on the multifunction steering wheel.
- ▶ Say one of the navigation commands explained as follows.

Commands

You cannot start route guidance until all the necessary address data has been entered. The commands for entering an address can be found at (▷ page 19).

"Help navigation"

Use the "Help navigation" command to have the main commands for the navigation system read out.

The main categories are read out first. After a main category has been selected, the available commands are read out.

"Current position"

You can use this command to display the current vehicle position on the map.

"Estimated arrival time"

You can use the command "Estimated arrival time" to have the estimated time of arrival based on your currently planned route read out.

"Road information"

You can use the "Road information" command to have the type of road and, if available, the road number read out.

"Guidance instructions off" or "Guidance instructions on"

You can use this command to switch route guidance voice output on or off.

When you use the "Guidance instructions on" command, LINGUATRONIC also repeats the last guidance instruction.

"Zoom in" or "Zoom out"

You can use these commands to increase or decrease the scale of the map on the display.

"Zoom in completely" or "Zoom out completely"

You can use these commands to set the map display directly to the smallest or largest scale.

Map direct scale

You can use the following commands, e.g. "100 m scale", to enter the scale for map view directly.

The following settings are possible:

- 50 m, 100 m, 200 m, 500 m
- 1 km, 2 km, 5 km
- 10 km, 20 km, 50 km
- 100 km, 200 km

"Compass"

You can use this command to view the compass in the display.

"Change map direction"

i This function is only available in 2D mode.

You can use this command to switch the map's orientation between north up and heading up.

"Map north up"

i This function is only available in 2D mode.

You can use this command to set the map's orientation to north up.

"Map heading up"

i This function is only available in 2D mode.

You can use this command to set the map's orientation to heading up.

"2D mode"

You can use this command to view the map in 2D.

"3D mode"

You can use this command to view the map in 3D.

Switching the display during route guidance

You can switch between different views whilst route guidance is active.

The following views are possible:

- Show total route
- Show route guide display
- Hide route guide display
- Display highway facility map
- Hide highway facility map
- Display metropolitan highway map
- Hide metropolitan highway map

VICS commands

VICS (Vehicle Information and Communication System) allows your vehicle to be supplied with real-time information about traffic disruptions. This information is shown in the display as text or graphics.

The following commands are possible:

- "Show VICS highway info"
- "Hide VICS highway info"
- "Show VICS public road info"
- "Hide VICS public road info"
- "Show VICS all road info"
- "Hide VICS all road info"
- "Show VICS traffic congestion map"
- "Hide VICS traffic congestion map"
- "Show VICS uncongested road map"
- "Hide VICS uncongested road map"
- "Show restriction info"
- "Hide restriction info"
- "Traffic jam"

LINGUATRONIC asks whether you would like the map area around the traffic jam to be displayed.

"ETC card"

You can use this command to query the status of the ETC card.





Entering an address

The system guides you through the dialogue to route guidance. As soon as a valid address is entered, LINGUATRONIC asks whether you would like to start route guidance.

"Enter destination"

i This function is only available in Japanese.

Example of dialogue:

-  Enter destination
-  Please select how to search. Points of interest or address?
-  Address
-  Please enter an address, beginning with prefecture.









"Enter address"

i This function is only available in Japanese.

You can use the command "Enter address" to enter an address by saying the prefecture, city and street.

If the city is in your current prefecture, you do not need to say the prefecture.

Example of dialogue:





-  Address
-  Please enter an address, beginning with prefecture.
-  Tokyo-to, Minato-ku, Roppongi
-  Please complete the address or say "done" or "back".
-  Done
-  Do you want to start route guidance?
-  Yes
-  The system starts route guidance.

"Set way point 1 to 4"

i This command is only available when the destination point has already been set and route guidance is active.

You can use this command to select up to four way points for the current route guidance. To do this, the target position map must be displayed.



Example of dialogue:

-  Set way point 1
-  Do you want to set the way point on the motorway?
-  Yes
-  Way point 1 set.

"Delete way point 1 to 4"

You can use this command to delete way points that you have already set. If you have not set any way points, or have already driven past the selected way point, the system tells you this.

Example of dialogue:






-  Delete way point 1.
-  Deleting way point 1.





Searching by zip code

You can use the "Search by zip code" command to enter a zip code and start route guidance.

i Please say the zip code in single digits. Do not say the number in groups of tens, hundreds or thousands.


Example of dialogue:

-  Enter postcode
-  Please say a postcode.
-  One zero six eight five zero six
-  One zero six eight five zero six. Please say "done" or "back".
-  Done










-  Destination matching zip code one zero six eight five zero six has been found. Displaying map.
-  Do you want to start route guidance?
-  Yes
-  The system starts route guidance.

Searching by phone number

You can use the "Search by phone number" command to enter a phone number and start route guidance.

-  Please say the phone number in single digits. Do not say the number in groups of tens, hundreds or thousands.


Example of dialogue:

-  Search by phone number
-  Please say a phone number.
-  Zero three one two three four five six seven eight
-  Zero three one two three four five six seven eight. Please say "done" or "back".
-  Done
-  Destination matching phone number zero-three-one-two-three-four-five-six-seven-eight has been found. Displaying map.
-  Do you want to start route guidance?
-  Yes
-  The system starts route guidance.

"Correction"











If you have entered parts of an address, you can use the "Correction" command to repeat the last entry.

"Points of interest" (POIs)


-  This function is only available in Japanese.

You can use the command "Points of interest" to select special destinations (filling stations, airports, railway stations etc.). You can enter the POI in full or in part.

Example of dialogue:

-  Points of interest
-  Please say a POI or prefecture name.
-  Tokyo Tower
-  Searching POI with Tokyo Tower.
-  The system shows a numbered list of POIs on the display, including Tokyo Tower.
-  10 results were found. Please select a line number. If you would like to narrow down the list please enter a POI name in details, place or genre.
-  Number three
-  Number three accepted. Display 'Tokyo Tower'. Do you want to start route guidance?
-  Yes
-  The system starts route guidance.

Showing and hiding POI symbols

-  The symbols for POIs are only displayed when the map scale is set to 500 metres or less.



You can show and hide the symbols on the map using the following commands:

- "Show ***"
- "Hide POI icons"

Possible entries for *** include:

- Restaurant
- Convenience store
- Gas station
- Parking
- Bank
- Mercedes-Benz Service Centre
- Personal

Example of dialogue:




-  Show restaurant
-  Displaying restaurant.

"Destination history"

You can use the command "Destination history" to reselect a destination from the list of previously selected destinations.



"Save destination"

You can use the command "Save destination" to store the currently displayed map data in the address book.

-  Save destination
-  Please say the name.
-  Smith¹

"Save location"





You can use the command "Save location" to store the current vehicle position.

-  Save location
-  This location has been saved.

"Preset destination 1 to 3"

You can use this command to call up a previously stored destination and start route guidance to this destination. You can preset up to three destinations.



Example of dialogue:



-  Preset destination 1
-  Do you want to set the destination on preset 1?
-  Yes
-  Setting destination on preset 1.

"Home"

You can use this command to start route guidance to your home address. To do so, you must previously have stored your home address in COMAND Online.

Example of dialogue:








-  Home
-  Do you want to set the destination at home?

-  Yes
-  Setting home as destination.

"Find address"

You can use the command "Find address" to select a previously stored address and start route guidance.


Example of dialogue:


-  Find address
-  Please say the name.
-  Suzuki Taro
-  Suzuki Taro accepted.
-  Do you want to start route guidance?
-  Yes
-  The system starts route guidance.




"Read out destination memory"

You can use the command "Read out destination memory" to have all entries in the address book read out in which a destination address is stored. If desired, you can set an entry as the destination for route guidance.

Example of dialogue:

-  Read out destination memory
- The system reads out the entries from the address book's destination memory.

► Press the  button on the multifunction steering wheel when the desired name is read out.

-  If there are a number of addresses available, the system asks "Do you want to navigate to Smith?"
-  Yes
-  The system starts route guidance.

"Start route guidance"

You can use the command "Start route guidance" to start route guidance when the destination is displayed.

¹ Example of an entry.



Start route guidance.



Route guidance is started.

"Stop route guidance"

You can use this command to stop route guidance.

Example of dialogue:



Cancel route guidance



Stopping route guidance.

"Resume route guidance"

You can use this command to restart route guidance after it has been interrupted.

Example of dialogue:



Resume route guidance.



Resuming route guidance.

Making changes to the route

You can use the following commands to make changes to a route that has already been calculated. You can select certain categories:

- Take toll road
- Avoid motorways
- Take recommended route
- Take shortest route
- Alternate route
- Recalculate route
- Detour

Example of dialogue:



Take shortest route



Re-routing to take shortest route.

Address book

Points to remember



WARNING

Operating the integrated information systems and communications equipment in the vehicle while driving will distract you from traffic con-

ditions. You could then lose control of the vehicle. There is a risk of an accident.

Only operate these devices if road traffic conditions permit. If you are unsure about the surrounding conditions, pull over to a safe location and make entries only while the vehicle is stationary.

Overview

You can use the address book to store personal information in the form of entries.

You can use LINGUATRONIC to dial a phone number stored in the address book or to start route guidance to a stored address.

Entries in the Yomigana field of the address book can be recognised by LINGUATRONIC. Recognition of the address book entries depends on the names entered.

During selection, you can say a tag in the following ways:

- first name only
- surname only
- first name and surname
- surname and first name



Check the address book entries for the following:

- the name entries, e.g. surname and first name, are in the correct fields
- do not use abbreviations or acronyms
- avoid unnecessary spaces in names
- do not use special characters
- use Katakana for the Yomigana field.

Operation

You can use LINGUATRONIC to:

- call a name
- read out the address book
- read out the destination memory (▷ page 21)
- open the address book

- open an entry from the address book
 - read out the phone book (> page 16)
- ▶ **To select the address book application:** press the  button on the multi-function steering wheel.
- ▶ Say the command "Address book".
- ▶ Press the  button on the multifunction steering wheel.
- ▶ Say one of the address book commands explained below.

Commands

"Help address book"

Using the command "Help address book", you can have the main commands for the address book read out.

"Call name"

(> page 15)

"Find name"

Use the command "Find name" to search for a name in the address book.

LINGUATRONIC then asks you which actions you would like to perform, for example:

- call the corresponding phone number
- start route guidance to the stored address
- open the entry

"Read out address book"


You can use the command "Read out address book" to listen to all the name entries in the address book. You can select an entry while doing so.

Example of dialogue:

 Read out address book

The system reads out all address book entries. If there is a large number of entries, the system asks from which entry reading out should start.

i If you do not say a name, LINGUATRONIC reads out all address book entries.

▶ **To select an address book entry:** press the  button at the selected entry. The entry is selected.

LINGUATRONIC then asks which action you would like to perform with the selected entry.

"Read out phone book" and dialling a number

(> page 16)

"Read out destination memory" and navigating to a destination

(> page 21)

Radio

Points to remember

WARNING

Operating the integrated information systems and communications equipment in the vehicle while driving will distract you from traffic conditions. You could then lose control of the vehicle. There is a risk of an accident.



Only operate these devices if road traffic conditions permit. If you are unsure about the surrounding conditions, pull over to a safe location and make entries only while the vehicle is stationary.

Operation

You can use LINGUATRONIC to:

- find a station
- select a frequency
- switch to traffic information
- list station list
- select a waveband (FM or AM)

The names of all received and stored stations are available for voice recognition.

- ▶ **To select the radio application:** press the  button on the multifunction steering wheel.
- ▶ Say the command "Radio".
- ▶ Press the  button on the multifunction steering wheel.
- ▶ Say one of the radio commands explained below.

Commands

"Help radio"

Use the command "Help radio" to have all the commands for the radio read out.

The main categories are read out first. After a main category has been selected, the available commands are read out.

Selecting a waveband

You can use the following commands to set the waveband:

- "FM1"
- "FM2"
- "AM1"
- "AM2"

"Seek up"/"seek down"



You can start station search and set the next station using the following commands:

- "Seek up"
- "Seek down"

Selecting a frequency

You can select radio frequencies in the FM range (76.0 to 90.0 megahertz) and in the AM range (531 to 1602 kilohertz) directly. LINGUATRONIC also recognises the words "frequency", "point", "megahertz" and "kilohertz".





Example of dialogue:

-  Eighty-one dot three megahertz
-  LINGUATRONIC sets the frequency.

"Autostore"

You can use the "Autostore" command to search the current waveband and save stations that have adequate reception.



Example of dialogue:

-  Autostore
-  Do you want to start autostore in FM 1?
-  Yes
-  Presetting stations automatically.

"Preset 0" to "Preset 9"

You can use the commands "Preset 0" to "Preset 9" to call up a previously stored station using its preset number.

Example of dialogue:





-  Preset 1
-  LINGUATRONIC sets the frequency associated with that preset.

"Select station"

i This function is only available in Japanese.

Use the command "Select station" to select a stored station.

Example of dialogue:



-  Select station
-  Please say the station name in the preset list.
-  FM Yokohama
-  LINGUATRONIC sets the station.

"Station FM Yokohama"

i This function is only available in Japanese.

You can use this command to select a station directly from the preset list. It does not work if the name of the station has been changed.


Example of dialogue:

-  Station FM Yokohama
-  LINGUATRONIC sets the station.

"Read out station list" and selecting a station


You can use the command "Read out station list" to have a list of all stored stations in the preset list read out. You can also select a station if desired.

Example of dialogue:

-  Read out station list

The system reads out the station list.

If the station you desire is read out:

- ▶ Press button .
 - The system sets the corresponding frequency.

Traffic information

You can use the "Traffic information" command to switch LINGUATRONIC to traffic information.

CD and audio DVD mode**Points to remember**** WARNING**


Operating the integrated information systems and communications equipment in the vehicle while driving will distract you from traffic conditions. You could then lose control of the vehicle. There is a risk of an accident.

Only operate these devices if road traffic conditions permit. If you are unsure about the surrounding conditions, pull over to a safe location and make entries only while the vehicle is stationary.

Operation


You can use LINGUATRONIC to:

- select a CD/DVD
- select a track
- select a group in audio DVD mode
- access MUSIC REGISTER

▶ **To select the CD/DVD application:** press the  button on the multifunction steering wheel.

▶ Say one of the following commands:

- "CD"/"BGM CD"
- "DVD Audio"/"BGM DVD Audio"

▶ Press the  button on the multifunction steering wheel.

▶ Say one of the CD/DVD commands explained below.

Commands**"Help CD"/"Help DVD"**

You can use the following commands to have all the commands for the CD or DVD player read out:

- "Help CD"
- "Help DVD audio"

"CD"/"BGM CD"/"DVD audio"/"BGM DVD audio"

With the commands "CD"/"DVD audio" you can switch to the inserted CD or DVD.

You can also switch to the inserted CD or DVD using the commands "BGM CD"/"BGM DVD audio". You can retain the currently displayed screen when doing so, e.g. Navigation.

"Track 1" to "Track 99"

- i** The "MUSIC REGISTER", "Media Interface", "USB" and "memory card" media can contain a maximum of 999 tracks.

With the commands "Track 1" to "Track 99", you can select a track number from the inserted CD/DVD.

"Next track"

You can use the "Next track" command to select the next track.

"Previous track"

You can use the "Previous track" command to select the previous track.

"Group 1" to "Group 9"

With the commands "Group 1" to "Group 9", you can select a group on an inserted audio DVD.

"Next group" / "Previous group"

Using the following commands, you can select the next or the previous group on an audio DVD:

- "Next group"
- "Previous group"

i In MUSIC REGISTER and with MP3s, these commands are used in the following manner: "Next album" / "Previous album" or "Next folder" / "Previous folder".

"Memory card" / "BGM memory card"

Using the commands "Memory card" / "BGM memory card", you can change to the SD memory card on COMAND.

"MUSIC REGISTER" / "BGM MUSIC REGISTER"

With the commands "MUSIC REGISTER" / "BGM MUSIC REGISTER" you can switch to the internal hard drive (MUSIC REGISTER) of COMAND.

"USB" / "BGM USB"

Use the commands "USB" / "BGM USB" to change to the USB storage device on COMAND.

TV and video DVD mode

Points to remember

WARNING



Your attention must always be focused on the traffic conditions.

Familiarise yourself with the TV functions before beginning your journey.

Only operate the LINGUATRonic voice-operated control system when traffic conditions permit. You could otherwise become involved in an accident in which you or others could be injured.

Operation

You can use LINGUATRonic to:

- switch on the TV
 - change channel
 - select a title in video DVD mode
- **To select the TV application:** press the  button on the multifunction steering wheel.
- Say one of the following commands:
- "TV"
 - "Television"
 - "DVD" / "BGM DVD"
- Press the  button on the multifunction steering wheel.
- Say one of the TV commands explained below.

Commands

"Help TV" / "Help DVD"

You can use the commands "Help TV" and "Help DVD" to have all TV and DVD commands read out.

"Seek up" / "seek down"





You can start station search and set the next station using the following commands:

- "Seek up"
- "Seek down"

"Select station"

i This function is only available in Japanese. Use the command "Select station" to select a stored station.



Example of dialogue:

-  Select station
-  Please say the station name in the preset list.
-  NHK General
-  LINGUATRONIC sets the station.

"Station <station name>"

i This function is only available in Japanese. You can use this command to select a station directly from the preset list. It does not work if the name of the station has been changed.

Example of dialogue:

-  Station NHK General
-  LINGUATRONIC sets the station.





"Read out station list" and selecting a station

i This function is only available in Japanese. You can use the command "Read out station list" to have a list of all stored stations in the preset list read out. You can also select a station if desired.

"Autostore"

You can use the command "Autostore" to carry out a station search and save the stations that currently have adequate reception.

Example of dialogue:

-  Autostore
-  Do you want to start autostore in TV1?
-  Yes
-  Presetting stations automatically.

"DVD" / "BGM DVD"

With the command "DVD" you can switch to the inserted DVD.

You can use the command "BGM DVD" if you want to retain the currently displayed screen, e.g. navigation.

"Scene 1" to "Scene 999"

When watching a video DVD, you can use the commands "Scene 1" to "Scene 999" to select a scene on the inserted DVD.

"Next scene" / "Previous scene"

For a video DVD, the following commands can be used to select the next or previous scene on the inserted DVD:

- "Next scene"
- "Previous scene"

External devices

i If you want to keep the currently displayed screen, e.g. navigation, you can use for example the command "BGM Media Interface".

"Media Interface" / "BGM Media Interface"

You can use the commands "Media Interface" / "BGM Media Interface" to switch to an

external device that is connected to the Media Interface.

Controls

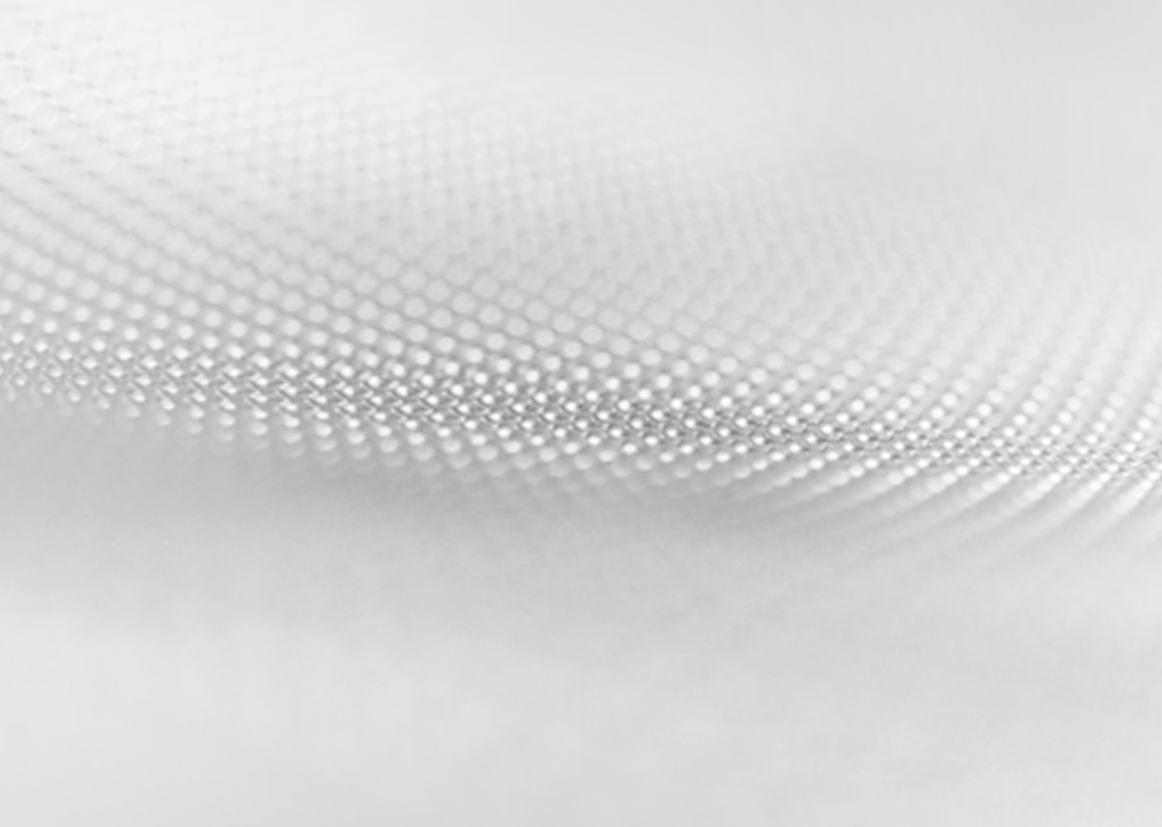
"Bluetooth Audio"/"BGM Bluetooth Audio"

You can use the commands "Bluetooth Audio"/"BGM Bluetooth Audio" to switch to an external Bluetooth® audio device.

"iPod"/"BGM iPod"

You can use the "iPod"/"BGM iPod" commands to switch to an iPod®, if it is connected to the Media Interface.

Introduction 30
General commands 30
Telephone commands 31
Navigation commands 31
Address book commands 32
Audio and video commands 33



Introduction

In this section, you will find the main commands for operating LINGUATRONIC. The commands available to you depend on the vehicle's equipment.

- i** Some functions have several voice commands to facilitate operation. These are grouped together between the separator lines in the list and can be used interchangeably.

General commands

- Address book
- Audio
- CD
- Navigation
- Navi
- DVD video
- Audio DVD
- Radio
- Telephone
- Video
- Help
- Available commands
- Help voice controllable devices
- Help LINGUATRONIC
- Help radio
- Available commands in radio
- Help phone
- Available commands in phone/telephone
- Help address book
- Available commands in address book

- Help audio CD
- Available commands in CD
- Help DVD
- Available commands in DVD video
- Help DVD audio
- Available commands in DVD audio
- Help navigation
- Available commands in Navigation
- Help route guidance
- Available commands in route guidance
- Help Media Interface
- Available commands in Media Interface

You can use the following commands within a dialogue:

- Yes
- Cancel
- Stop
- No
- Pause
- Wait
- Correction
- Back
- Incorrect
- Preset 0 – 9
- Next
- Next page
- Continue
- Previous
- Previous page
- Last page
- <1> – <7>
- Line 1 - Line 7

Telephone commands

- Telephone
- Dial number
- Enter number
- Call
- Read out phone book
- Read out phone book
- Redial
- Last calls
- Received calls
- Missed calls

You can use the following commands within a telephone dialogue:

- Dial
- Repeat
- Confirm number
- Repeat phone number
- Correction
- Incorrect
- Back

Navigation commands

- Navigation
- Navi
- Guidance instructions
- Guidance instructions on
- Switch on guidance instructions
- Listen to guidance instructions
- Guidance instructions off
- Mute guidance instructions
- Map
- Zoom in

- Zoom out
- 25 m scale
- 50 m scale
- 100 m scale
- 200 m scale
- 500 m scale
- 1 km scale
- 2 km scale
- 5 km scale
- 10 km scale
- 20 km scale
- 50 km scale
- 100 km scale
- 200 km scale
- Zoom in completely
- Zoom out completely
- Map north up
- Map heading up
- Change map direction
- 2D mode
- 3D mode
- Compass
- Show/hide VICS highway info
- Show/hide VICS public road info
- Show VICS info for all roads/Hide VICS all road info
- Show/hide VICS traffic congestion map
- Show/hide VICS uncongested road map
- Show/hide restriction info
- Traffic jam
- Current position
- Road information
- Enter destination
- Destination entry
- Start route guidance
- Go to here

- Cancel route guidance
- Stop navigation
- Last destinations
- Postcode
- Enter postcode
- Points of interest
- Enter points of interest
- Show restaurant
- Show supermarket
- Show filling station
- Show parking
- Show bank
- Show Mercedes-Benz Service Centre
- Show personal
- Hide POI icons
- Set way point 1 - 4
- Delete way point 1 to 4
- Preset destination 1 to 3
- Home
- Find address
- Take toll road
- Avoid motorways
- Take recommended route
- Take shortest route
- Take alternate routes
- Recalculate route
- Detour
- Save destination
- Save location

Address book commands

- Address book
- Read out address book
- List address book
- Open entry
- Find name
- Read out destination memory
- Read out destination memory

You can use the following commands within an address book dialogue:

- Accept
- OK
- Done
- <1> - <7>
- Line 1 - Line 7
- <address book entry> car
- <address book entry> landline
- <address book entry> landline phone
- <address book entry> mobile
- <address book entry> mobile phone
- <address book entry> home mobile phone
- <address book entry> landline company
- <address book entry> work
- <address book entry> home
- Work
- Office
- Company
- Car
- Car phone
- Landline
- Landline phone
- Landline telephone

- Mobile
- Mobile phone
- Cell phone
- Work car
- Work car phone
- Car phone work
- Work landline
- Work landline telephone
- Landline telephone work
- Work mobile
- Work mobile phone
- Mobile phone work
- Home
- Home car
- Home car phone
- Car phone home
- Home landline
- Home landline telephone
- Landline telephone home
- Home mobile
- Home mobile phone
- Mobile phone home

Audio and video commands

Radio

- Radio

You can use the following commands when the radio is switched on:

- 76 point 0 – 90 point 0
- 76 point 0 megahertz – 90 point 0 megahertz
- Frequency 76 point 0 – frequency 90 point 0
- Frequency 76 point 0 megahertz – frequency 90 point 0 megahertz
- FM1
- FM2
- AM1
- AM2
- Seek up
- Next station
- Seek down
- Previous station
- Station <station name>
- Select station
- Read out station list
- Read out station list
- Preset 0 – Preset 9
- Autostore

CD player

- CD
- BGM CD
- Audio CD

You can use the following commands when the CD player is switched on:

- Track up
- Next track
- Previous track
- Track down
- Track 1 – Track 99
- Select track 1 - Select track 99

Hard disk

- Hard disk
- MUSIC REGISTER
- BGM MUSIC REGISTER

DVD audio

- DVD Audio
- BGM DVD Audio

You can use the following commands when audio DVD mode is switched on:

- Next group
- Previous group
- Group 1 – 9
- Next track
- Track up
- Previous track
- Track down
- Track 1 – Track 99
- Select track 1 - Select track 99

Media Interface

- Media Interface
- BGM Media Interface

TV and video

- Video
- DVD
- BGM DVD
- TV
- Television
- Seek up
- Next station
- Seek down
- Previous station
- Station <station name>
- Select station
- Read out station list
- Read out station list
- Preset 1 – Preset 12
- Autostore
- Scene 1 to Scene 999
- Next scene
- Previous scene

Memory card

- Memory card
- SD card
- BGM memory card

USB

- USB
- BGM USB
- USB memory

Bluetooth® audio

- Bluetooth audio
- BGM Bluetooth audio

iPod®

- iPod
- BGM iPod

Troubleshooting 38



Troubleshooting

Help function

LINGUATRONIC offers a comprehensive help function to assist the user.

The LINGUATRONIC help function offers you:

- general notes on the optimum operation of LINGUATRONIC
- a list of possible commands


Practical advice

Help commands

"Help LINGUATRONIC"

You can use the command "Help LINGUATRONIC" to obtain information about how best to operate LINGUATRONIC.

"Help"

- ▶ Press the  button on the multifunction steering wheel and say the command "Help".
You will receive help on the currently selected application.

If you say the command "Help" during a voice dialogue, for example after saying "Dial number", you will receive help explaining how the dialogue continues.

You can also request the help function for a specific system, for example by using the command "Help phone".



If you have activated the help window, you will see a selection of the possible commands on the display (> page 42).

Entering numbers

Entering digits

- Digits from "zero" to "nine" are permissible.
- Say telephone numbers as blocks of digits with two to five digits per block.

Improving voice recognition

Problem	Possible causes/consequences and ► Solutions
LINGUATRONIC does not understand you.	You have not operated LINGUATRONIC from the driver's seat. ► Only operate LINGUATRONIC from the driver's seat.
	You have spoken too exaggeratedly, too loudly or too quietly. ► State the commands coherently and clearly without exaggerating.
	A blower is set to its highest setting or there is wind noise through an open window. ► Prevent loud noises from interfering.
An address book entry is not recognised.	The names entered in the address book do not sound sufficiently different, or are not pronounced as they are written. ► Make sure the address book entries are plausible. Check the address book entries for the following: <ul style="list-style-type: none"> • the name entries, e.g. surname and first name, are in the correct fields • do not use abbreviations or acronyms • avoid unnecessary spaces in names • do not use special characters • use Katakana for the Yomigana field. ► Say the command "Read out address book". LINGUATRONIC reads out the address book. ► Press the  button on the multifunction steering wheel when the name you want is read out.
A station list entry is not recognised.	► Say the command "Read out station list". LINGUATRONIC reads out the station list. ► Press the  button on the multifunction steering wheel when the station you want is read out. The station is selected (▷ page 24).

Practical advice

Help window 42
Individualisation 42
Changing the language setting 43

Help window

You can use the help window to display a selection of valid commands on the display. You can switch the help function on or off in the **System** menu in COMAND.

The components and operating principles of COMAND can be found in the corresponding operating instructions.

Switching the help window on/off

- ▶ Press the **sys** button.
- or
- ▶ Select **Settings** in the main functions menu bar.
The system menu appears.
- ▶ Select **System Settings** → **Lingua-tronic**.
- ▶ Select **Help Window**.
Switch the help window on or off .

Individualisation

Using individualisation, you can fine-tune LINGUATRONIC to your own voice and thus improve voice recognition.

Individualisation can only be started when the vehicle is stationary. After starting the session, the system leads you through the training using voice instructions.

- ▶ **i** If individualisation is activated, it may affect the voice-recognition quality of other users. Switch off individualisation if it impairs the voice-recognition quality of other users.

Individualisation in English comprises two parts. You train the system to recognise digits in the first part and specific commands in the second part.

Individualisation in Japanese comprises one part in which you individualise the system for digits and specific commands.

The system can be reset to the factory settings at any time.

- ▶ **i** Individualisation in English does not need to be completed in full. Even training in the digits will result in a significant improvement in the recognition rate. The training can be stopped after the first part.

The components and operating principles of COMAND can be found in the corresponding operating instructions.

Starting a new individualisation

- ▶ Press the **sys** button.
- or
- ▶ Select **Settings** in the main functions menu bar.
The system menu appears.
- ▶ Select **System Settings** → **Lingua-tronic** → **Start New Individualization**.
You will see and hear a prompt, asking whether you would like further information.
- ▶ Select **Yes** or **No**.
Individualisation in English:
 - If you select **No**, the first part of individualisation begins.
 - If you select **Yes**, you will see and hear more information.

Individualisation in Japanese:

- ▶ If you select **No**, individualisation is started.
- ▶ If you select **Yes**, you will see and hear more information.

or

- ▶ **To close the display:** press the  COMMAND controller.

You will hear a prompt asking whether you would like to individualise digits or commands.²

Individualisation in English: at the end of the first part, you will see a prompt asking whether you want to begin the second part.

Individualisation in English:

- ▶ Select **Yes** or **No**.
 - If you select **No**, individualisation will be cancelled. The data from the first part is stored automatically.
 - If you select **Yes**, the second part will begin.

Individualisation is completed at the end of the second part. You will see a message to this effect. The data from the second part is stored automatically.


Individualisation in English: cancelling the first or second part of individualisation

- ▶ Select **Cancel**.
A prompt appears asking whether you really wish to cancel.
- ▶ Select **Yes** or **No**.
 - If you select **Yes**, individualisation will be cancelled. The data from the part during which you exited is not stored.
 - If you select **No**, the current part begins again.


Individualisation in Japanese: cancelling individualisation

- ▶ Select **Cancel**.
A prompt appears asking whether you really wish to cancel.
- ▶ Select **Yes** or **No**.
 - If you select **Yes**, individualisation will be cancelled. The data is not stored.
 - If you select **No** the individualisation starts again.

Deleting existing individualisation

- ▶ Press the  button.
- or
- ▶ Select **Settings** in the main functions menu bar.
The system menu appears.
 - ▶ Select **System Settings** → **Linguatronic** → **Delete Individualization**.
A prompt appears asking whether you really wish to delete.
 - ▶ Select **Yes** or **No**.

Activating/deactivating individualisation

- ▶ Press the  button.
- or
- ▶ Select **Settings** in the main functions menu bar.
The system menu appears.
 - ▶ Select **System Settings** → **Linguatronic** → **Individualization On**.
Switch individualisation on or off .

Changing the language setting

You can change the LINGUATRonic language by changing the system language.

² Only for individualisation in English.

The LINGUATRONIC system recognises English and Japanese.

▶ Press the **sys** function button.

or

▶ Select **System** in the main function menu bar.

The system menu appears.

▶ Select **Settings** → **Language**.

▶ Select the desired language.

